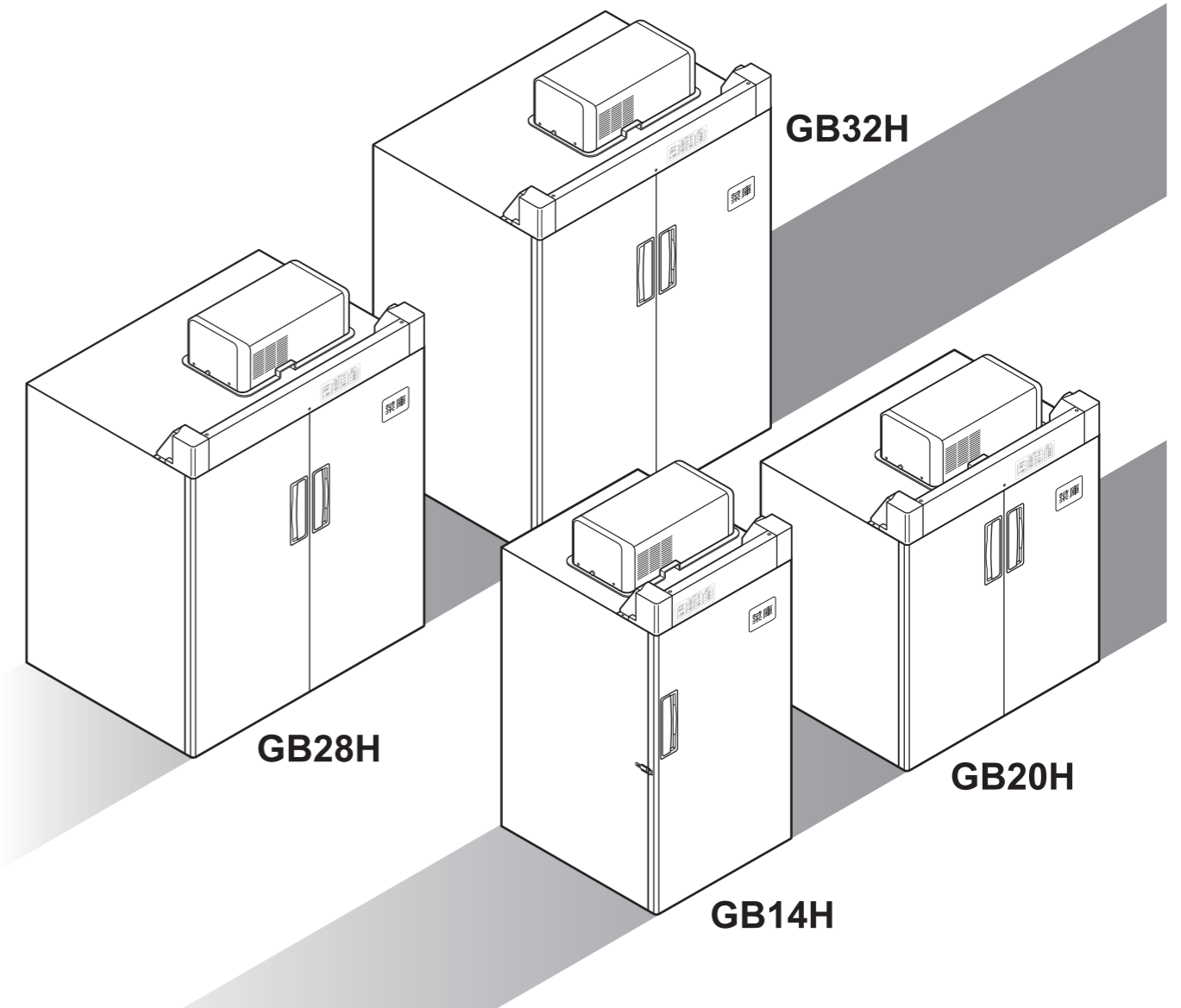
## 農産物低温貯蔵庫

# 菜庫

GB14H
GB20H
GB28H
GB32H

# 取扱説明書

- この取扱説明書をよくお読みの上、機械の取扱いをしてください。
- この取扱説明書は、必要なときにいつでも調べられるように、大切に保管してください。

静岡製機株式会社

◎ 販売店に連絡がつかない場合は、最寄りの弊社営業所もしくは営業本部へご連絡ください。


静岡製機株式会社

| 営業所 | 住所 | 電話 | FAX |
|---|---|---|---|
| 北海道営業所 | 〒007-0804 札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号 | ☎札　幌(011) 781-2234 | FAX.(011) 780-2273 |
| 東北営業所 | 〒989-6136 宮城県大崎市古川穂波3丁目1番14号 | ☎古　川(0229) 23-7210 | FAX.(0229) 21-1330 |
| 新潟営業所 | 〒950-0923 新潟県新潟市中央区姥ケ山1丁目5番30号 | ☎新　潟(025) 287-1110 | FAX.(025) 257-1197 |
| 関東営業所 | 〒302-0017 茨城県取手市桑原1424-1 | ☎取　手(0297) 73-3530 | FAX.(0297) 70-1137 |
| 中部営業所 | 〒437-8601 静岡県袋井市山名町4-1 | ☎袋　井(0538) 43-2251 | FAX.(0538) 45-0310 |
| 北陸営業所 | 〒920-0365 石川県金沢市神野町東52 | ☎金　沢(076) 249-6177 | FAX.(076) 240-9333 |
| 関西営業所 | 〒661-0032 兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10-8 | ☎大　阪(06) 6432-7890 | FAX.(06) 6434-2184 |
| 中四国営業所 | 〒700-0975 岡山県岡山市北区今2丁目8-12 | ☎岡　山(086) 244-4123 | FAX.(086) 244-9300 |
| 九州営業所 | 〒839-0862 福岡県久留米市野中町1438-1 | ☎久留米(0942) 32-4495 | FAX.(0942) 31-7373 |
| 営業本部 | 〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300 | ☎袋　井(0538) 23-2822 | FAX.(0538) 23-2890 |

◎ ご購入された製品や弊社のサービス全般についてのご提案、ご意見、ご要望は下記までご連絡ください。

『静岡製機株式会社　お客様提案窓口』

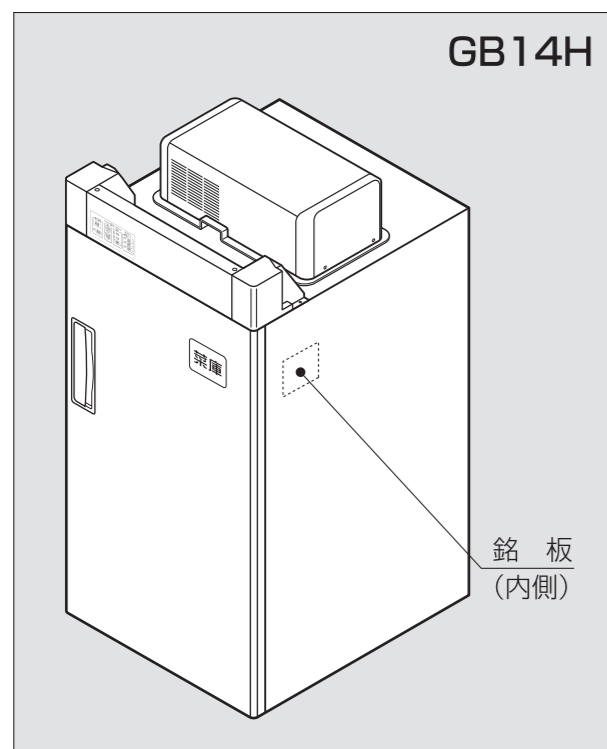
フリーダイヤル　0120ー702ー118（携帯電話、PHSは不可）
一般電話　0538ー23ー3305
FAX　0538ー23ー4997

ホームページアドレス http://www.shizuoka-seiki.co.jp/

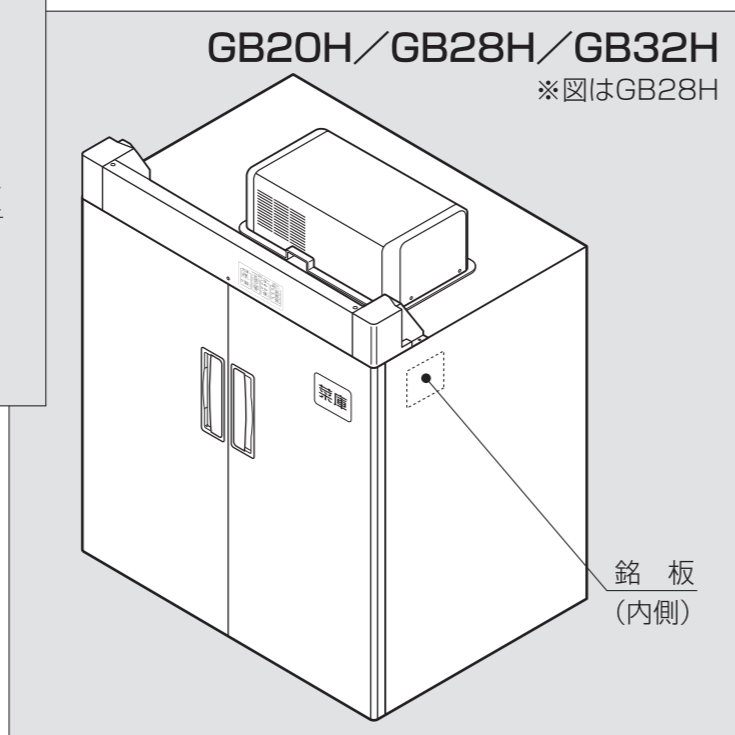

11772-204001
D1305

## ご使用の前に

1.この機械を使用する前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
その上で、取扱説明書に従って運転操作、保守・点検を行ってください。
2.この取扱説明書に記載してある注意事項や機械に表示してある注意事項は、発生しうる全ての危険を予測、想定できているわけではありません。
従って機械の運転、保守・点検および組立を行う場合は、取扱説明書の記載および機械に表示してある事項に限らず、安全対策には十分配慮してください。
3.この取扱説明書についてご不明な点がございましたら、購入先または弊社の営業所か、本社営業部にお問い合わせください。
4.この取扱説明書が必要なときにいつでも調べられるように、大切に保管してください。
紛失した場合は、購入先へ注文してください。
5.この機械の組立にあたっては、この取扱説明書の（⑥ 組立要領）の項をよくお読みいただき、内容を十分に理解された上で、安全に注意して組立してください。

## 機械の型式名のご確認

機械の型式名と製造番号が銘板に記入されています。
ご確認の上、次ページの保証書の記入欄に書入れてください。
購入先に点検、修理を依頼したり、部品を注文される時は、この型式名を一緒にご連絡ください。

GB14H

GB20H／GB28H／GB32H
※図はGB28H

## 8 連絡先

機械に異常が発生し、原因が不明で適切な処置ができない場合は、購入先へご連絡ください。
購入先へ連絡がつかない場合は、背表紙の連絡先（最寄りの弊社営業所もしくは営業本部）へご連絡ください。

| 購　入　先 | |
|---|---|
| 住　　　所 | |
| T　E　L | |



# 保　証　書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お買い上げいただきました製品につきまして、下記のとおり保証をいたします。

記

**1.保証期間**　納入日から起算して**5ヶ年**です。

**2.保証内容**　保証期間中に、本機を構成する部品、材料等に、設計製作上の欠陥があらわれた場合、弊社製品取扱先及びその指定サービス工場で当該部品の取替え、又は、修理を無料でいたします。なお、製品以外の責につきましては保証いたしかねます。

**3.適用除外**　保証期間内でも、下記の場合には保証いたしません。

（1）使用上、並びに取扱い上の不注意、過失、点検不備によって、故障が生じた場合。
（2）弊社が規定する仕様の限界を越えて使用した場合。
（3）弊社が認めない改造変更が原因となって故障した場合。
（4）弊社純正部品以外の部品使用が原因で故障した場合。
（5）弊社製品の取扱先又は、その指定サービス工場以外で修理され故障した場合。
（6）故障判定資料の不充分なもの、及び損傷部品を紛失された場合。
（7）消耗部品。
（8）保証書の提示がない場合は有償となることがあります。
（9）保証書を紛失した場合は再発行いたしません。

**4.部品の供給年限**

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、**製造打ち切り後6年**といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は、原則的に上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid in Japan）

SS 静岡製機株式会社
静岡県袋井市山名町4-1

| 1.お買い上げ製品 | （機種名）　GB |
|---|---|
| 2.製　造　番　号 | |
| 3.納 入 年 月 日 | 年　　月　　日 |
| 4.購　　入　　先 | 取扱先名 |
| | 担 当 者 |

# 目　次





# 7.困ったときには

| 機械の様子 | 調べていただくこと | 処置していただくこと | 参　照 |
|---|---|---|---|
| 設定温度以下を表示する | 1.外気温度が設定温度以下になっていませんか | 1.加温機能はありませんのでそのままご使用ください。 | P.11 |
| | 2.庫内に物を詰めすぎていませんか。 | 2.庫内の物を少なくする。 | P.16 |
| | 3.庫内の冷気循環路は確保されていますか。 | 3.冷気循環路を確保する。 | P.13 |
| | 4.運転開始直後ですか。 | 4.運転開始直後は、庫内温度が不安定のため設定温度以下を表示することがあります。庫内温度が安定するまでに数日間かかります。 | P.11<br>P.16 |
| | 5.設定温度は希望の温度に設定してありますか。 | 5.設定温度が違っていれば再設定する。庫内温度は設定温度に対して上下2℃の範囲で制御します。 | P.14 |
| 庫内に水滴が落ちてくる | 1.排水ホースは浮き上がっていませんか。 | 1.ホースサドルでしっかりと固定し、浮き上がりをなくす。 | P.26 |
| | 2.排水ホースはしっかり差し込まれていますか。 | 2.排水ホースを接続口にしっかり差し込む。 | P.26 |
| | 3.本体が前後左右に傾いていませんか。 | 3.本体を水平にする。 | P.28<br>P.29 |
| 庫内に露がつく | 1.ADJプラグはしっかり入っていますか。 | 1.ADJプラグをしっかりと入れる。 | P.29 |
| | 2.ドアが開いていませんか。 | 2.ドアをしっかりと閉める。 | P.18 |
| 本体の外に露がつく | 1.周囲の温度や湿度が高くありませんか。 | 1.菜庫の設置してある室内の温度が35℃以上の場合や湿度の高い時は換気をよくするよう工夫する。 | P.19 |
| | 2.ドアの合わせ部に露がついていませんか。 | 2.ドアの合わせ部には露がつくことがあります。水の量が多い場合は受皿（お客様でご用意願います）で受けてください。 | P.17 |
| | 3.ADJプラグはしっかり入っていますか。 | 3.ADJプラグをしっかり入れる。 | P.29 |
| | 4.ADJ断熱シートは入れてありますか。 | 4.ADJ断熱シートを入れる。 | P.29 |
| ドアが傾いている | 1.床面が柔らかくありませんか。 | 1.床の固い設置場所に変更してください。 | P.12 |
| | 2.床面が凸凹で本体がひずんでいませんか。 | 2.アジャストボルトで調整してください。 | P.24<br>P.28 |
| | 3.ドアスペーサを取り外されましたか？ | 3.ドアスペーサを取りはずしてください。 | P.25 |
| 排水パイプから水が出る | 1.高湿の設定になっていませんか。 | 1.玄米貯蔵であれば、低湿設定にしてください。<br>高湿設定でご使用になる時は、別売りの排水ホースをご利用ください。 | P.14<br>P.16<br>P.26 |
| | 2.ドアが開いていませんか。 | 2.ドアをしっかりと閉める。 | P.18 |
| | 3.ドアを頻繁に開けていませんか。 | 3.ドアの開閉回数を減らす。 | P.12 |

# 7 困ったときには

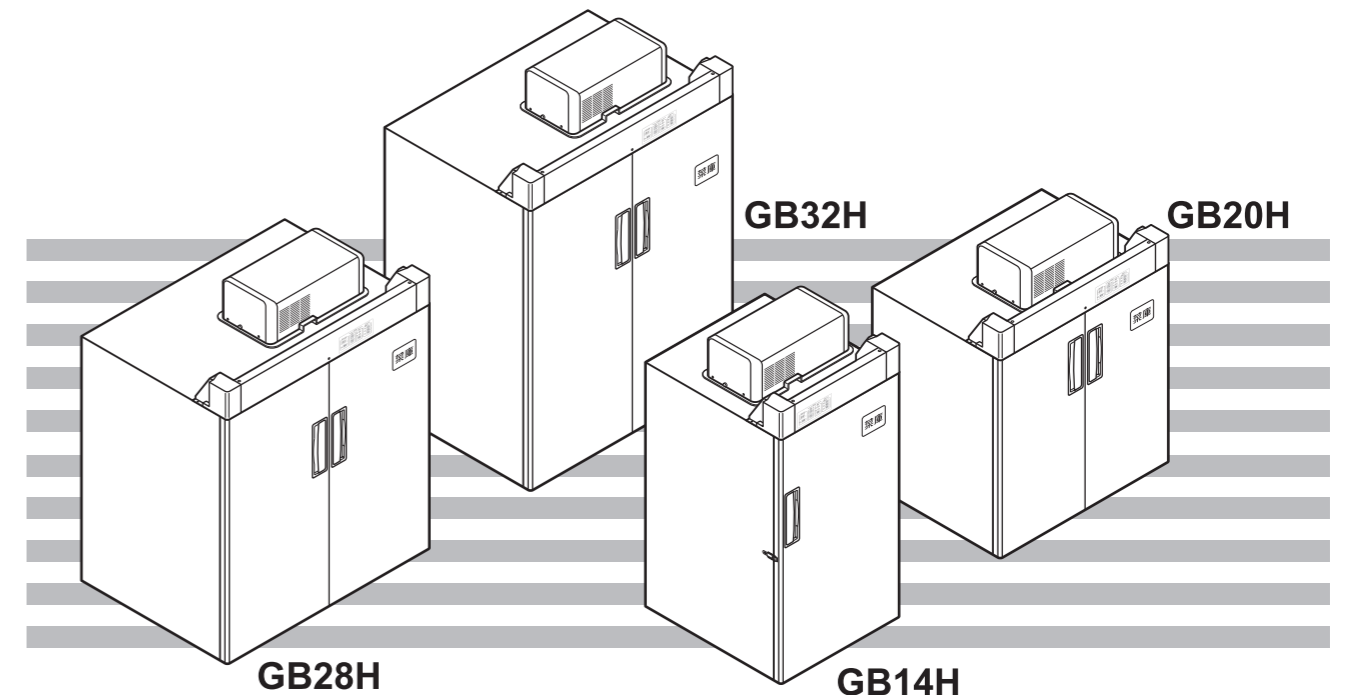
この章では、機械の様子を調べていただくこと、処置していただくこと、および参照していただくページについて説明しています。

機械の様子がおかしいと思ったときには、まず次のことをお調べください。容易に処置できることがあります。それでもなお調子が悪いときは、購入先、又は、弊社にご連絡ください。

| 機械の様子 | 調べていただくこと | 処置していただくこと | 参照 |
|---|---|---|---|
| チェックコードC1が表示される（点滅） | 1.ドアが少し開いていませんか。<br>2.冷蔵ユニットの前後に物が置かれていませんか。<br>3.吸込口にホコリがついていませんか。<br>4.凝縮器のファンは動いていますか。（圧縮機と同時運転） | 1.ドアを確実に閉める。<br>2.物を取り除く。<br>3.ホコリがあれば掃除をする。<br>4.購入先にご連絡ください。 | P.18<br>P.19<br>P.20 |
| エラーコードE3~E7が表示される（点滅） | 1.部品の故障です。 | 1.購入先にご連絡ください。 | P.15 |
| 庫内がまったく冷えない | 1.電源が入っていますか。 | 1.電源プラグを確認する。 | P.13 |
| 設定温度まで冷えない | 1.直射日光が当たっていませんか。<br>2.風通しが悪く周囲の温度が高くなっていませんか。<br>3.ドアを頻繁に開けていませんか。<br>4.吸込口にホコリがついていませんか。<br>5.上面に物が置かれて凝縮器の冷却空気が流れにくくなっていませんか。<br>6.庫内に物を詰めすぎていませんか。<br>7.設定温度は希望の温度に設定してありますか。<br>8.ドアにすき間がありませんか。 | 1.直射日光を防ぐ。<br>2.風通しを良くするように工夫する。<br>3.ドアの開閉回数を減らす。<br>4.ホコリの確認をし、ホコリがあれば掃除をする。<br>5.物を取り除く。<br>6.庫内の物を少なくする。<br>7.設定温度が違っていれば再設定する。庫内温度は設定温度に対して上下2℃の範囲で制御します。<br>8.ドアのすき間をなくす。 | P.12<br>P.12<br>P.12<br>P.20<br>P.19<br>P.16<br>P.14<br>P.29 |
| 庫内温度が点滅する | 1.ドアが開いていませんか。<br>2.ドアを頻繁に開けていませんか。<br>3.熱いものを入れていませんか。 | 1.ドアを閉める。<br>2.ドアの開閉回数を減らす。<br>3.熱いものは、冷めてから入れる。 | P.18<br>P.12<br>P.12 |



# 1 まえがき

この章では、取扱説明書の記載内容、機械の使用目的・使用範囲、機械の構成及び使用電源について説明しています。

## 1.取扱説明書の記載内容

この取扱説明書には、機械の取扱安全事項、仕様、運転操作、保守・点検、組立要領の説明が記載されています。

## 2.機械の使用目的・使用範囲

この機械は、**農産物保冷庫**として設計されています。**肥料、薬品等を保冷する目的に使用しないでください。**

**玄米**を貯蔵する場合は**2年間程度**が限界です。

**玄米水分で16%以下**に乾燥させたものを紙袋に入れて貯蔵してください。

野菜、果実は種類によって貯蔵温度、貯蔵期間が大きく変わりますので注意が必要です。お近くの指導機関又は、購入先におたずねください。

野菜類の予冷（短期間で冷却する）には冷却能力が不足することがありますので使用しないでください。

## 3.機械の構成

この機械は、本体と冷蔵ユニット、すのこで一式になっています。

## 4.使用電源

この機械の使用電源は、**単相100V**で、電源電圧が90～110Vの範囲でご使用になれます。200V電源では、絶対に使用しないでください。

# 2 安全について

この機械を取扱う前に必ずお読みください。
この章では、警告用語の種類と意味、機械の取扱全般についての
注意事項及び警告表示ラベルについて説明しています。

## 2.1.警告用語の種類と意味

取扱説明書の警告内容、及び機械本体に貼付してある警告ラベルは、危険の度合に従って次の2段階に分けています。
この警告用語の意味を理解していただき、取扱説明書の内容に従って、運転操作、保守・点検、組立を行ってください。

| 危険等を喚起する表示・標識の種類 | 喚起する内容 |
|---|---|
| ⚠警告 | 「**警告**」の文字の下に書かれている事柄は、その内容を守らないと、**死亡又は重傷事故**につながることがあり、**十分ご注意**いただきたい内容です。 |
| ⚠注意 | 「**注意**」の文字の下に書かれている事柄は、その内容を守らないと、**ケガなどの事故**につながることがあり、**ご注意**いただきたい内容です。 |

この機械の取扱全般について、特に留意していただきたい事項は、この取扱説明書の中で下記のように書いて、上の警告事項とは区別しています。

**重要**

この機械の取扱全般について、特に留意していただきたい事項について示しています。

**注意**

一般的な留意事項

**⚠注意**

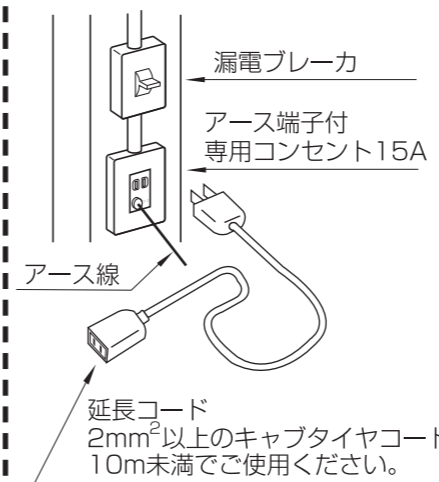
- **この機械の運転操作、保守・点検、組立は必ずこの取扱説明書に従って行ってください。**
- **取扱説明書の内容で不明な点がありましたら、購入先または、弊社営業所にお問合せ、確認してから作業を始めてください。**





### 6.2.8.電源の確認

電源の確認をしてください。

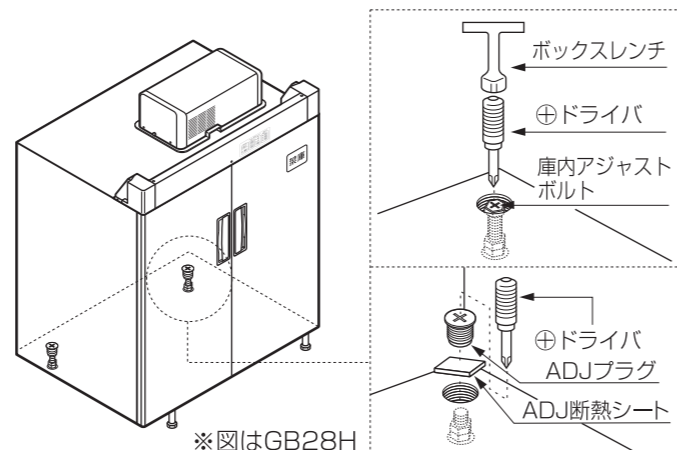
**⚠警告**

1. **15A以上のアース端子付専用コンセントを設けて単独で使用してください。**
2. **他の機械の電源とのたこ足配線は絶対しないでください。**
3. **安全のため漏電ブレーカ(定格電流15A／定格感度電流30mA)を取付けてください。**
4. **コードリールは使用しないでください。**
5. **延長コードを使用するときは、2mm²以上のキャブタイヤコードを使用してください。長さは、10m未満にしてください。**
6. **電源コードは踏みつけないでください。**
7. **アース線を接続してください。**

## 6.3.組立後の確認

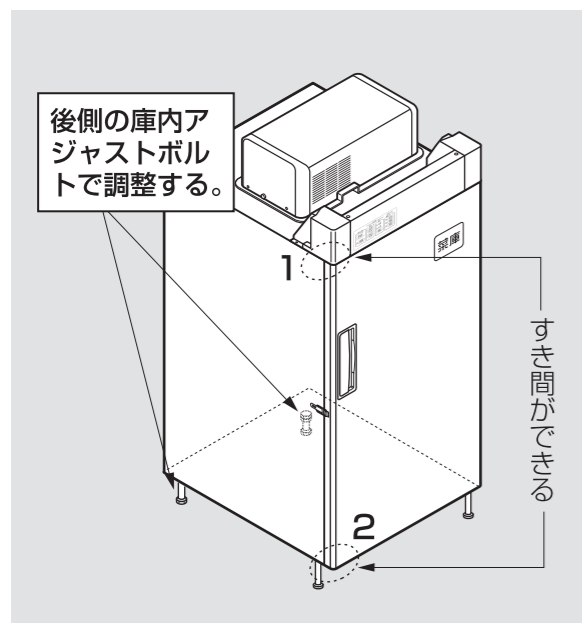
**組立後の確認を行ってください。** チェックリスト内容が全てOKとなるようにしてください。

| 項目 | 確認チェック事項 | チェック | 対応 |
|---|---|---|---|
| 1.据付 | ●本体は傾いていないか<br>●ドアにスキ間がないか | | ●28・29ページを参照<br>●29ページを参照 |
| 2.組立 | ●本体の回りにスペースはあるか<br>●直射日光はあたらないか<br>●換気はよいか（35℃以下）<br>●排水ホースはしっかり接続されているか<br>●排水ホースの浮き上がりはないか | | ●設置スペースを参照<br>●日除けをしてください<br>●窓を開けてください<br>●26ページを参照<br>●26ページを参照 |
| 3.ネジ部分の締付け | ●ボルト・ホースサドルは締付けたか<br>●仮止め箇所はないか | | ●締付ける<br>●締付ける |
| 4.ラベル | ●警告・注意などの警告表示ラベルの汚損はないか | | ●取替えてください |
| 5.漏電ブレーカ | ●付いているか | | ●付いていない場合は顧客先依頼事項とする |
| 6.電源コード | ●延長コードを使う場合は太さ2mm²以上あるか、長さ10m未満か | | ●太さ2mm²未満は取替えをし10m以上は電気工事店へ依頼する |
| 7.アース線 | ●アース線は接続しているか | | ●アース線を接続してください。 |
| 8.電源を入れる | ●冷蔵運転開始・庫内に冷却空気が出ていることを確認する<br>（設定温度は外気温度以下） | | ●運転操作は14ページを参照する |

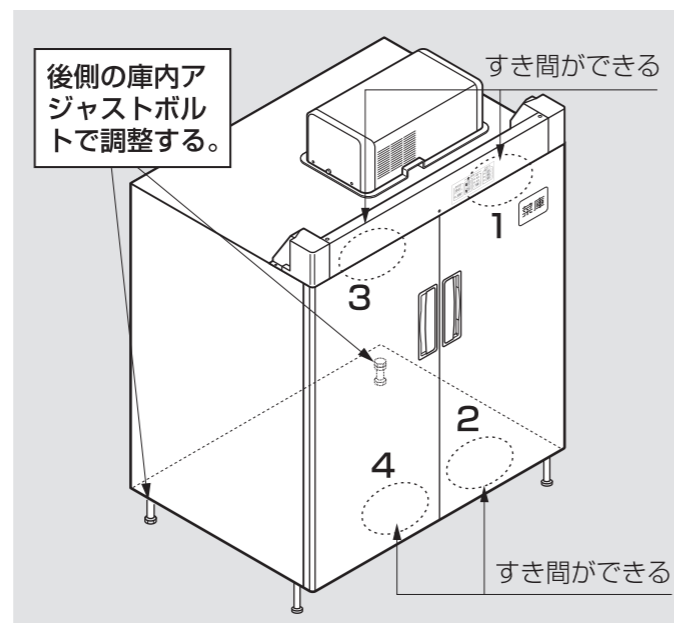
**後方調整**（庫内）

●庫内アジャストボルトを下げて、本体が動かないようにします。
●庫内アジャストボルトを⊕ドライバ(大)で下げます。
●設置面に庫内アジャストボルトが着いたらボックスレンチ10mmで水平調整します。
●ADJ断熱シートを庫内アジャストボルトに当たるまで詰め込みます。
●ADJプラグを⊕ドライバ(大)でネジ込みます。(庫内床面と同一面になるまでネジ込む。)

**重 要**
●ADJプラグを入れ忘れると庫内が結露します。
●ADJプラグ、ADJ断熱シートは、庫内アジャストボルトを地面まで下げてから、ネジ込んでください。
●ADJ断熱シートの真ん中を押しながら、ゆっくり詰め込んでください。
●ADJ断熱シートを入れないと、ADJプラグが結露することがあります。

**●ドアゴムと本体のすき間を調整します。**
ドアゴム（マグネットパッキン）と本体の間にすき間が出る時は、本体に歪みがあります。
後側の庫内アジャストボルトを調整して本体の歪みを取ってください。

### GB14Hの場合

**すき間の位置と調整**

| | すき間の位置 | 本体の調整方法 |
|---|---|---|
| 1 | 左側上部が空くとき | 右後側を下げる<br>左後側を上げる |
| 2 | 左側下部が空くとき | 右後側を上げる<br>左後側を下げる |

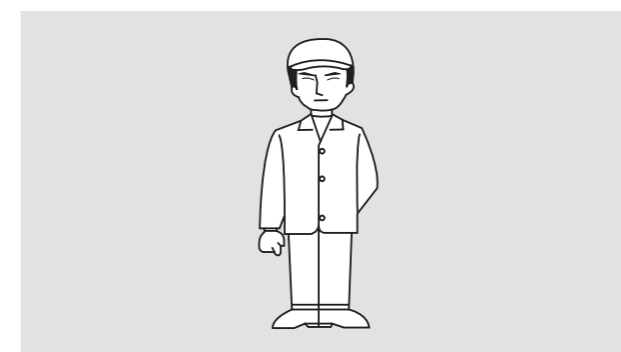
### GB20H／GB28H／GB32Hの場合

**すき間の位置と調整**

| | すき間の位置 | 本体の調整方法 |
|---|---|---|
| 1 | 右ドア中央部の上側が空くとき | 右後側を下げる／左後側を上げる |
| 2 | 右ドア中央部の下側が空くとき | 右後側を上げる／左後側を下げる |
| 3 | 左ドア中央部の上側が空くとき | 左後側を下げる／右後側を上げる |
| 4 | 左ドア中央部の下側が空くとき | 左後側を上げる／右後側を下げる |





## 2.2.安全に作業を行うための注意事項

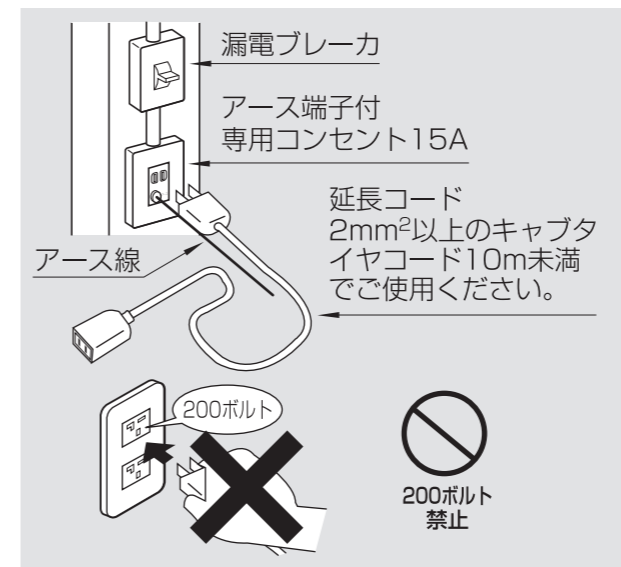
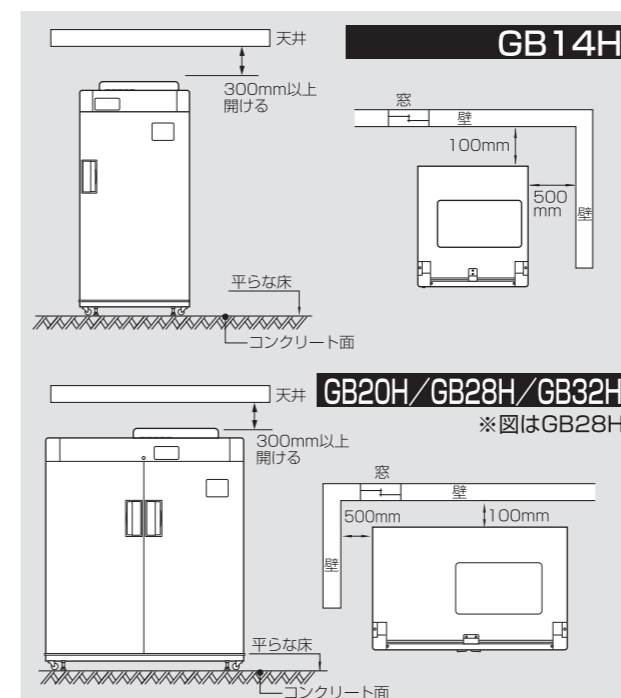
安全に作業を行うために次の注意事項を守ってください。

### 1 作業者の服装と健康

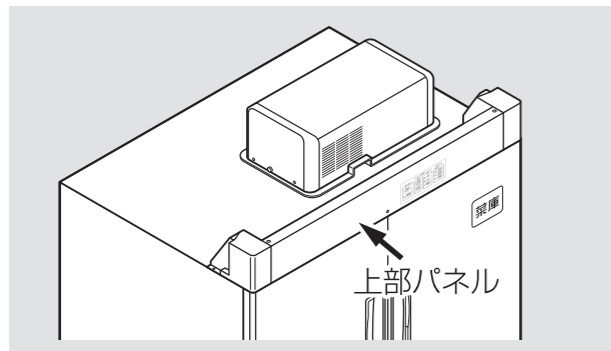
●作業に適した服装と靴で作業してください。
●過労や病気、酒気おびの状態で作業しないでください。
●米袋の積み降ろし時などに、腰をいためないようにしてください。
また、台の上に乗っての積み降ろし作業などはしないでください。台から落下してケガをすることがあります。
●頭や足などをぶつけないよう、注意して作業をしてください。

### 2 作業場の整備

●この機械は**屋内設置**用として設計・製作されていますので、屋根のある風通しの良い場所に設置してください。
●設置場所は平らな所で、**ひずみのないしっかりした床面**を選んでください。土間や板の間などの床面が柔らかい場所には設置しないでください。
●直射日光が本体に当たらないようにしてください。
●機械の回りにスペースを確保してください。
●換気の悪い場所に設置しないでください。
万一冷媒が漏れると、酸素欠乏の恐れがあります。

### 3 電源配線とアース

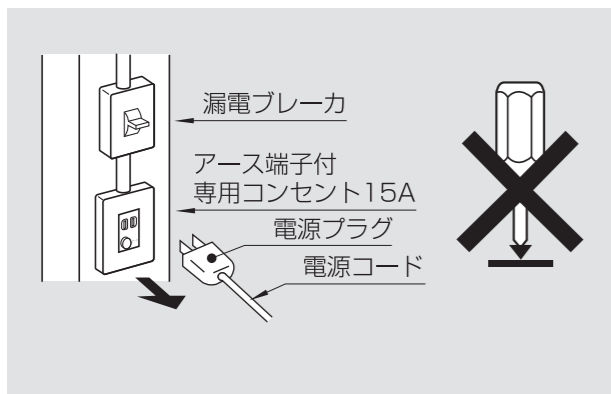
●この機械は**交流100V専用**です。
●交流200Vは絶対に使用しないでください。
●機械の電源は感電事故防止のために、**漏電ブレーカ(定格電流15A／定格感度電流30mA)があるコンセント(15A)から配線**してください。
●延長コードは電圧降下を防止するために**2mm²以上の太さで、10m未満の長さ**にしてください。
●他の機械とのたこ足配線は、絶対にしないでください。
●感電事故防止や機械の誤動作防止のため、アース線の接続をしてください。

**重 要**
**上記の配線になっていない場合は、購入先か電気工事店にご相談ください。**

## 4 使用中の安全

●カギを掛けてください。
子供が庫内に入ってドアを閉めた場合、
子供の力では開かないことがあります。
●カギを掛ける時は、庫内に人が入っていないことを確認してください。

●ドアは取手を持って閉めてください。
ドアに指などをはさんでケガをすることがあります。
●2枚ドアの中央部や、ドアの回転側に手や指などを入れていないことを確認してから、ドアを閉めてください。

●本体や冷蔵ユニットの上に乗ったり、物を置いたりしないでください。
転落したり、物が落下して、ケガをすることがあります。
また、機械が変形することがあります。

●上部のパネルに頭をぶつけないようにしてください。
ケガをすることがあります。

## 5 掃除・点検・整備の時の安全

●各部の掃除、点検をする場合は、必ず元電源を切ってから行ってください。
●電源コードは電源プラグを持って抜き差ししてください。
また、ぬれた手で抜き差ししないでください。
●修理技術者以外の人は、絶対に分解や修理、改造を行わないでください。
感電・火災・ケガ・故障の原因になります。





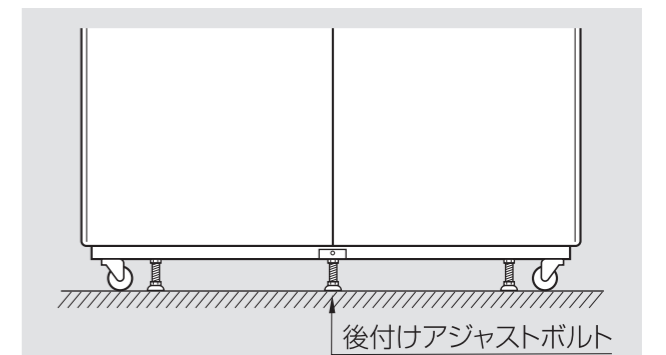
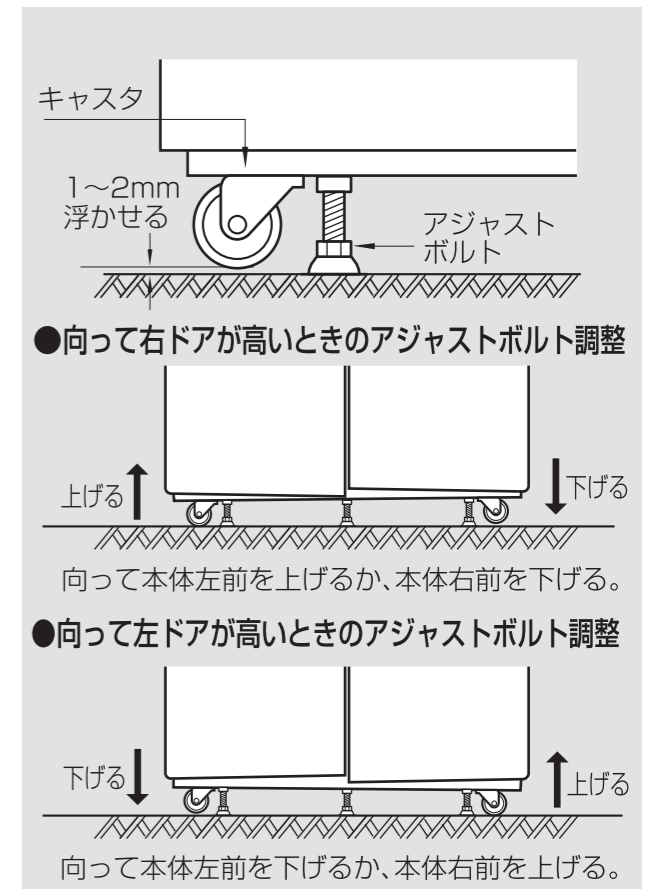
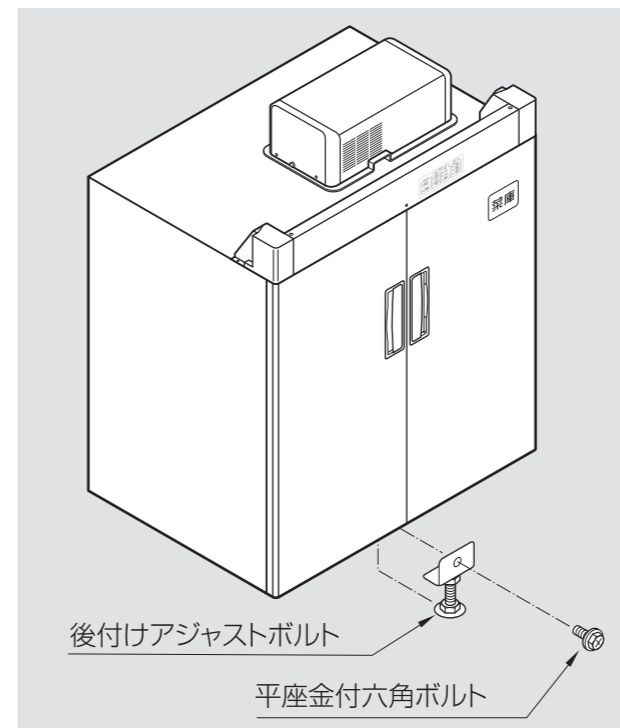
### 6.2.7.アジャストボルトの調整 GB20H／GB28H／GB32Hの場合

**前方調整**

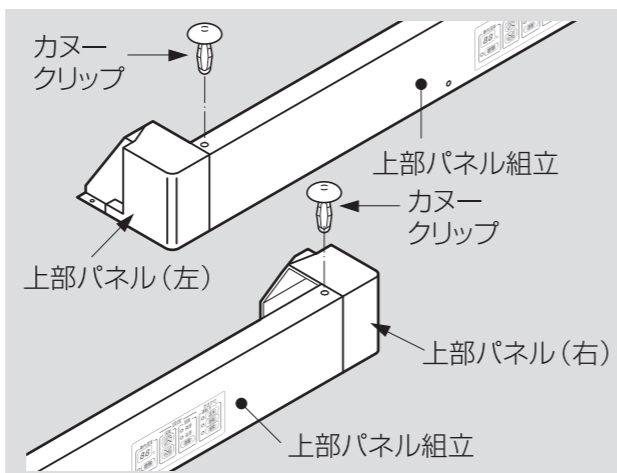
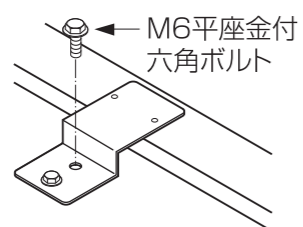
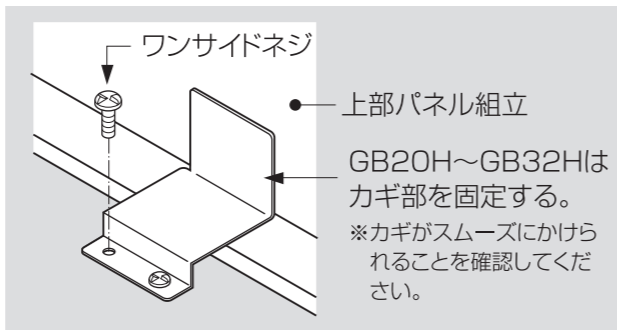
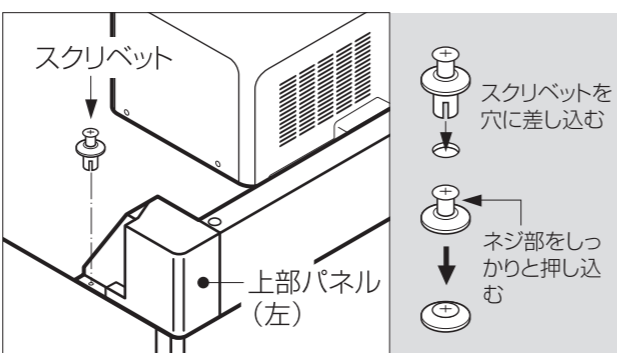
**❶設置場所に固定します。**
**土間や板の間などの床面が柔らかい場所には設置しないでください。**
●前側のアジャストボルトを下げて、本体が動かないようにします。

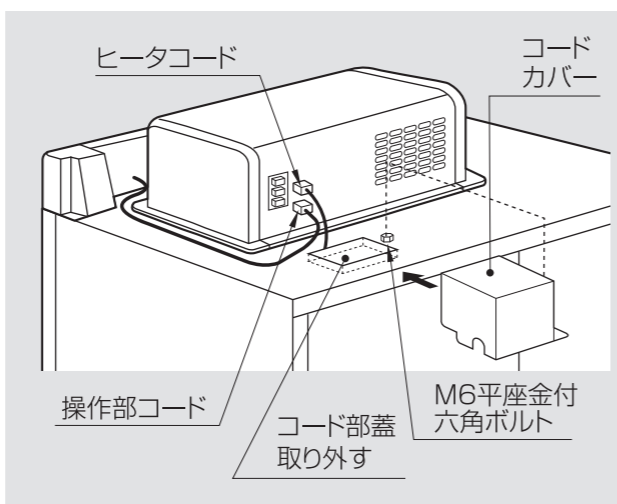
**重 要**
1.スパナ24mmでアジャストボルトを調整します。
2.水平はドアに歪みがないようにドアを開閉しながら調整してください。

※本体質量（空のとき）／GB20H：118kg
GB28H：139kg
GB32H：148kg

**❷後付けアジャストボルトを取付けます。**
（平座金付六角ボルトM6）
●後付けアジャストボルトを前側補強にある穴（楕円）に差し込みます。
●平座金付六角ボルトで固定します。
●アジャストボルトを地面に付くまで下げます。

**⚠ 警 告**
後付けアジャストボルトを組み付けないで米袋を入れると床が変形（たわむ）します。必ず組み付けてください。

### 6.2.6.上部パネルの組付け

❶ 上部パネル組立の両端に上部パネル（右）、上部パネル（左）をはめ、カヌークリップで固定します。カヌークリップはしっかり差し込んでください。その際、上部パネル（右・左）を上部パネル組立の内側へはめ込むようにします。

❷ パネルを組み立てた物を本体の上部に仮置きし、M6平座金付六角ボルト又はワンサイドネジ（2本）で本体に固定します。

❸ 上部パネル（右）、上部パネル（左）をスクリベットで本体に固定します。スクリベットは本体を穴にはめネジ部をしっかり押し込みます。

❹ ヒーターコード、操作部コードを接続します。

- コード部蓋をはずし、ヒータコードを取り出します。
- ヒータコード、操作部コードは確実に差し込んでください。

❺ コードカバーを取付けます。
（M6平座金付六角ボルト）

**⚠ 警 告**

組み付けた上部パネルに寄りかかったりしないでください。パネルが破損してケガをすることがあります。

**注 意**

ワンサイドネジは、一旦締め込みますと、特殊な工具を使用しないと外すことはできません。

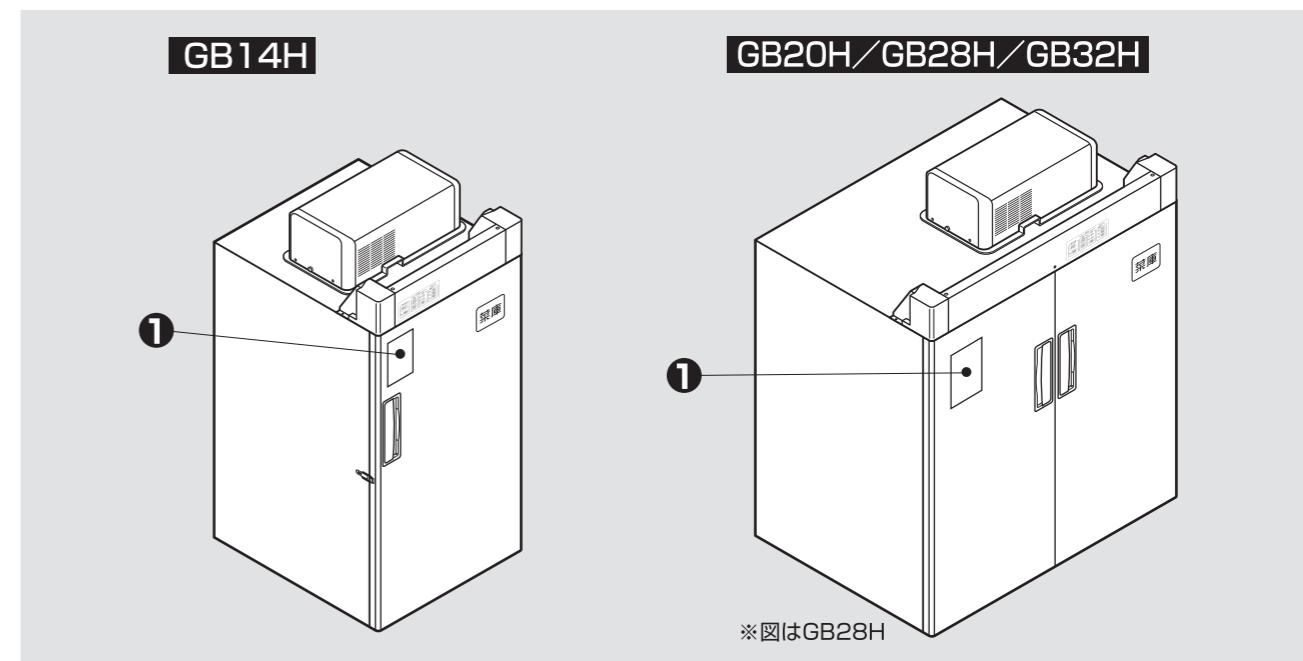




## 2.3.警告表示ラベルについて

機械の特に注意を要する箇所に警告表示ラベルが貼ってあります。
これらの位置と内容をよく確認し、守って安全作業を行ってください。

### 2.3.1.警告表示ラベルの貼付位置

警告表示ラベルの貼付位置は次の通りです。

| 図面表示番号 | 標識 | 名　　称 | 貼　付　位　置 | 品　　番 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 警告<br>注意 | 本体警告・注意ラベル | ド　ア | 11730-200007 |

### 2.3.2.警告表示ラベルの内容

警告表示ラベルの内容は次の通りです。
警告表示ラベルが汚れ、破れなどで見にくくなったときは新しいラベルに貼り替えてください。
ラベルは購入先へ注文してください。

❶

重 要　結露についてのお願い

結露は故障ではありません。梅雨期など温度・湿度が高い場合、本体表面やドアの合わせ部に結露を生じる場合がありますので、以下のような対応をお願いします。

- 部屋の換気を良くする。
- 本体周りの風通しを良くする。
- 本体を温度・湿度の低い場所に移動する。

安全上のご注意

取扱説明書に記載されている注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

感電・火災・死傷事故をふせぐために

- 電源を入れる前に必ずアース線を接続する。
- 定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
- 水につけたり水をかけたりしない。
- 手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。
  また、ぬれた手で抜き差ししない。
- 修理技術者以外の人は、分解や修理・改造を行わない。
- 本体や冷蔵ユニットの上に乗ったり、物を置かない。
- カギを掛ける。また、カギを掛ける時は、必ず庫内に人がいないことを確認する。

⚠ 注　意

傷害事故をふせぐために

- 冷蔵ユニットのカバーを外したままで運転しない。
- ドアは必ず取手を持って閉める。

>PET<　11730-200007

# 3 機械の仕様、構成、使用範囲

この章では、機械の主な仕様、構成、使用範囲について説明しています。

## 3.1.機械の仕様

### 3.1.1.主要諸元

機械の主な仕様は次の通りです。

| 名称 | | 農産物低温貯蔵庫 | |
|---|---|---|---|
| 型式 | | GB14H | GB20H |
| 寸法 | 外寸(奥行×幅×全高mm) | 984×886×1860 | 984×1543×1602 |
| | 本体(奥行×幅×全高mm) | 984×886×1620 | 984×1543×1362 |
| | 内寸(奥行×幅×全高mm) | 855×760×1400 | 855×1440×1140 |
| 有効容積(ℓ) | | 844 | 1279 |
| 製品質量(kg) | | 99 | 118 |
| 貯蔵量 | 玄米袋(30kg) | 14 | 20 |
| | 野菜コンテナ | 8 | 12 |
| 電源(V/Hz) | | 単相100V・50／60Hz | |
| 消費電力(W) | 冷蔵ユニット | 295／320(50／60Hz) | |
| | ヒーター | 19 | 16 |
| 冷媒 | | HFC-134a | |
| 制御温度(庫内)(℃) | | 2～20 | |
| 制御湿度(庫内)(%RH) | | 低湿55～75　高湿70～90 | |
| 使用周囲温度(℃) | | 2～35 | |
| 使用周囲湿度(%RH) | | 40～85 | |
| 付属品 | | すのこ・排水ホース | すのこ・排水ホース・後付アジャストボルト |

| 名称 | | 農産物低温貯蔵庫 | |
|---|---|---|---|
| 型式 | | GB28H | GB32H |
| 寸法 | 外寸(奥行×幅×全高mm) | 984×1543×1862 | 984×1543×2082 |
| | 本体(奥行×幅×全高mm) | 984×1543×1622 | 984×1543×1842 |
| | 内寸(奥行×幅×全高mm) | 855×1440×1400 | 855×1440×1620 |
| 有効容積(ℓ) | | 1599 | 1870 |
| 製品質量(kg) | | 139 | 148 |
| 貯蔵量 | 玄米袋(30kg) | 28 | 32 |
| | 野菜コンテナ | 16 | 16 |
| 電源(V/Hz) | | 単相100V・50／60Hz | |
| 消費電力(W) | 冷蔵ユニット | 295／320(50／60Hz) | |
| | ヒーター | 21 | 20 |
| 冷媒 | | HFC-134a | |
| 制御温度(庫内)(℃) | | 2～20 | |
| 制御湿度(庫内)(%RH) | | 低湿55～75　高湿70～90 | |
| 使用周囲温度(℃) | | 2～35 | |
| 使用周囲湿度(%RH) | | 40～85 | |
| 付属品 | | すのこ・排水ホース・後付アジャストボルト | |

電源コードの長さ：5m
野菜コンテナの大きさ：奥行370mm×幅520mm×高さ310mm

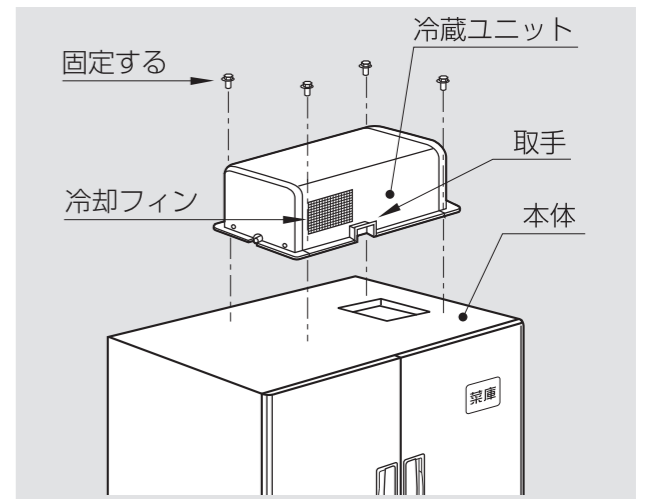




### 6.2.5.冷蔵ユニット・排水パイプの組付け

❶ 本体上部に冷蔵ユニットを乗せ、ボルトで固定します。
（平座金付六角ボルトM6）

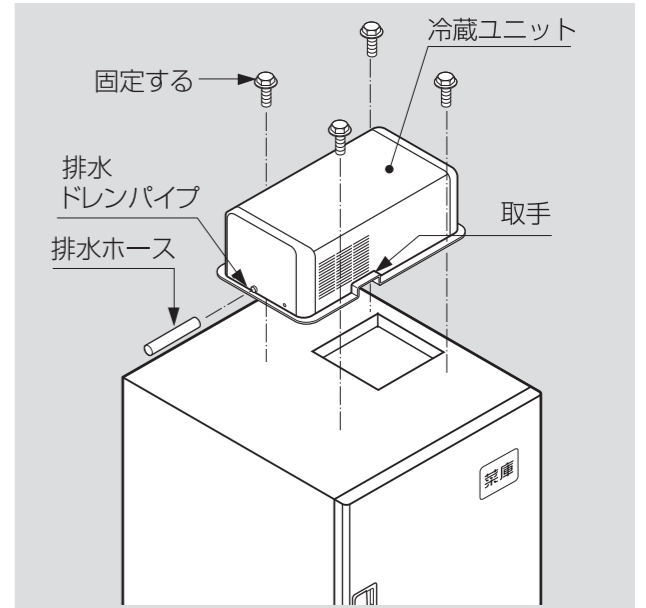
**重 要**

- 冷蔵ユニットを運ぶ時は、必ず取手を持って運んでください。取手以外の所を持つと手を滑らせ冷蔵ユニットが落下し破損・変形します。
- 冷蔵ユニット底面の発泡スチロール・パッキンは取外さないでください。
- 冷蔵ユニットを乗せる連携作業は、足元を確認した上で、声を掛合って行ってください。

❷ 排水ホースを冷蔵ユニットの排水ドレンパイプに差込みます。
排水ホースの先が下向きになるように差し込んでください。

**GB14Hの場合**

**注 意**

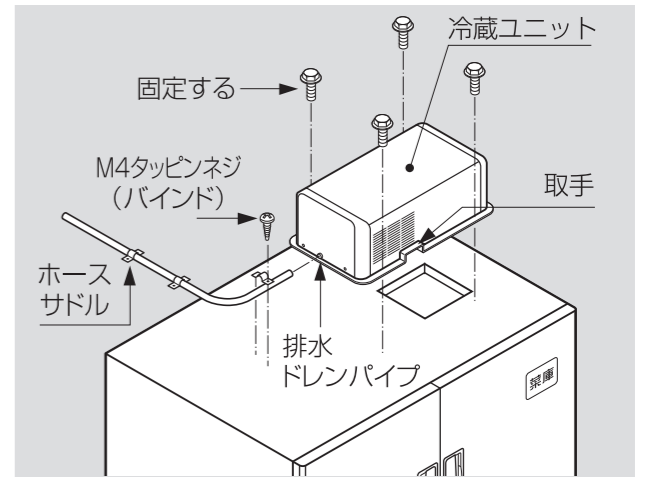
- 根元までしっかり差込んでください。
- 排水ホースを差し込むとき、排水ドレンパイプに無理な力がかからないようにしてください。

**GB14Hの場合**

❸ 排水ホースを冷蔵ユニットの排水ドレンパイプに差込みます。
排水ホースをホースサドルで本体に固定します。（M4タッピンネジ）

**GB20H～GB32Hの場合**

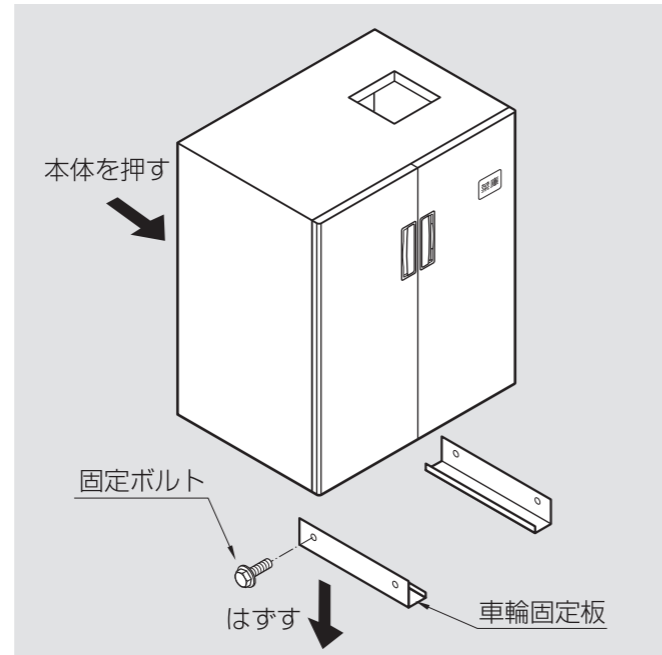
**注 意**

- 根元までしっかり差込んでください。
- 排水ホースを差し込むとき、排水ドレンパイプに無理な力がかからないようにしてください。
  排水ホースが浮き上がらないように、ホースサドルで固定してください。
- 高湿設定時、水分の多い野菜や根菜の貯蔵をする時は、多量の排水が考えられますので、排水ホースの先に排水ホース（別売部品）を取付けてください。

**GB20H／GB28H／GB32Hの場合**

### 6.2.4.貯蔵庫の設置

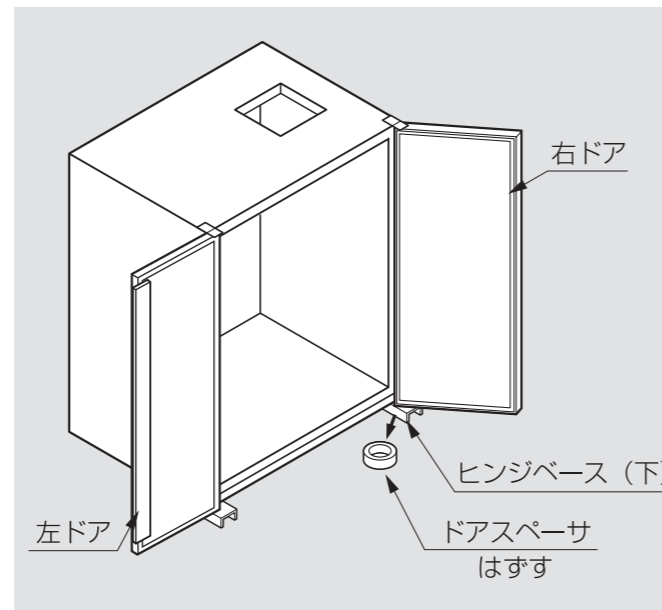
## GB20H～GB32Hの場合

**❶ 本体下の車輪固定板をはずします。**

1.スパナ10mm又はボックスレンチ10mmで左右の固定ボルト4ヵ所をはずします。
2.本体を手で、前方向に押します。
3.車輪固定板がはずれます。
4.ダンボールと保護シートと内部の発泡スチロールをはずします。

**❷ 設置場所に固定します。**

**土間や板の間などの床面が柔らかい場所には設置しないでください。**

**❸ ドアスペーサをはずします。**

1.右ドアを開けます。
2.ヒンジベース（下）に乗っているドアスペーサをはずします。

**注意**

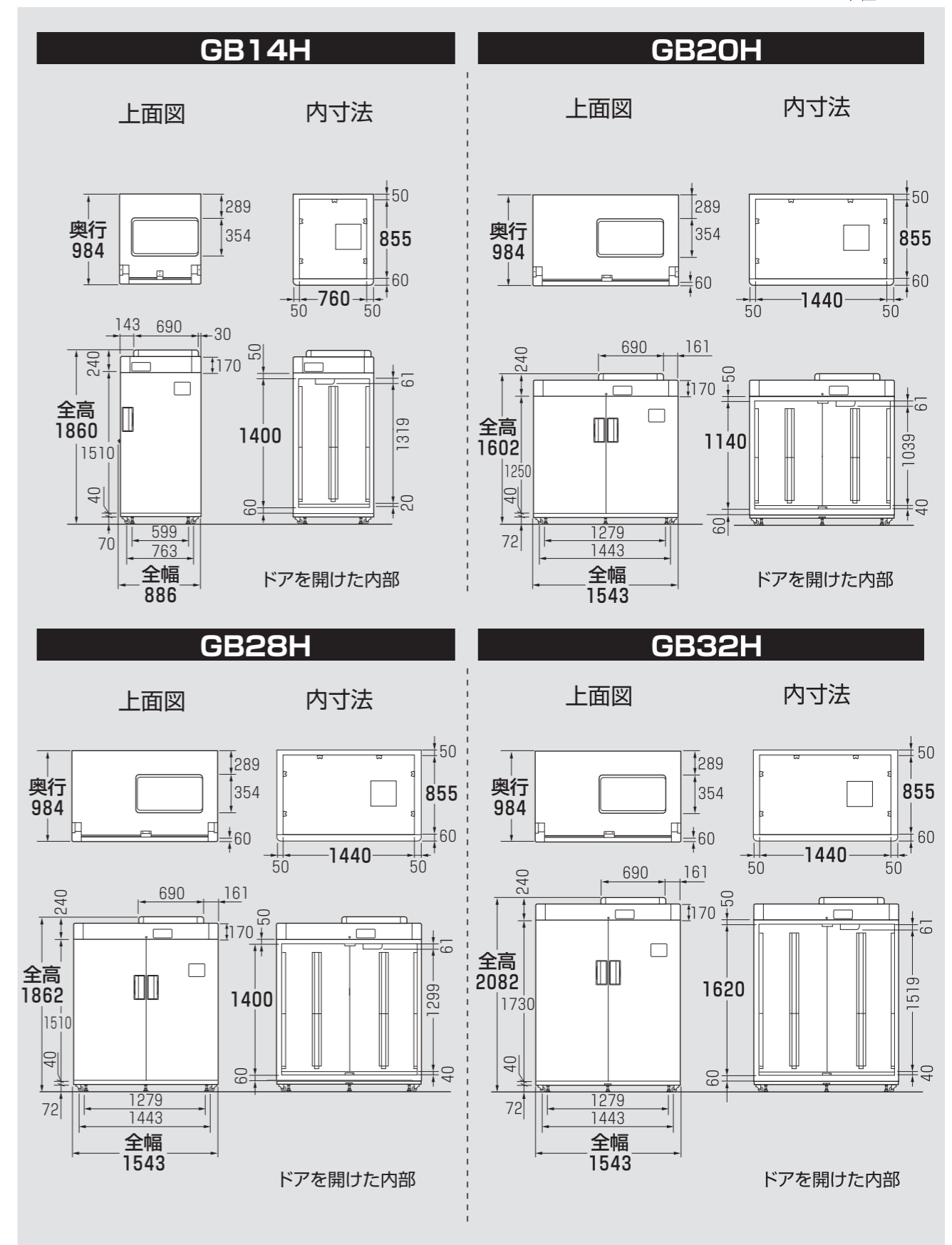
- ドアスペーサは、輸送時にヒンジ軸（下）ブッシュを保護するためのもので、設置後には不要となります。【材質：POM（ポリアセタール）】
- ドアスペーサを付けたままにしておきますと、ドアが自動的に閉まらなかったり、ドアの合わせ面に段差が生じます。

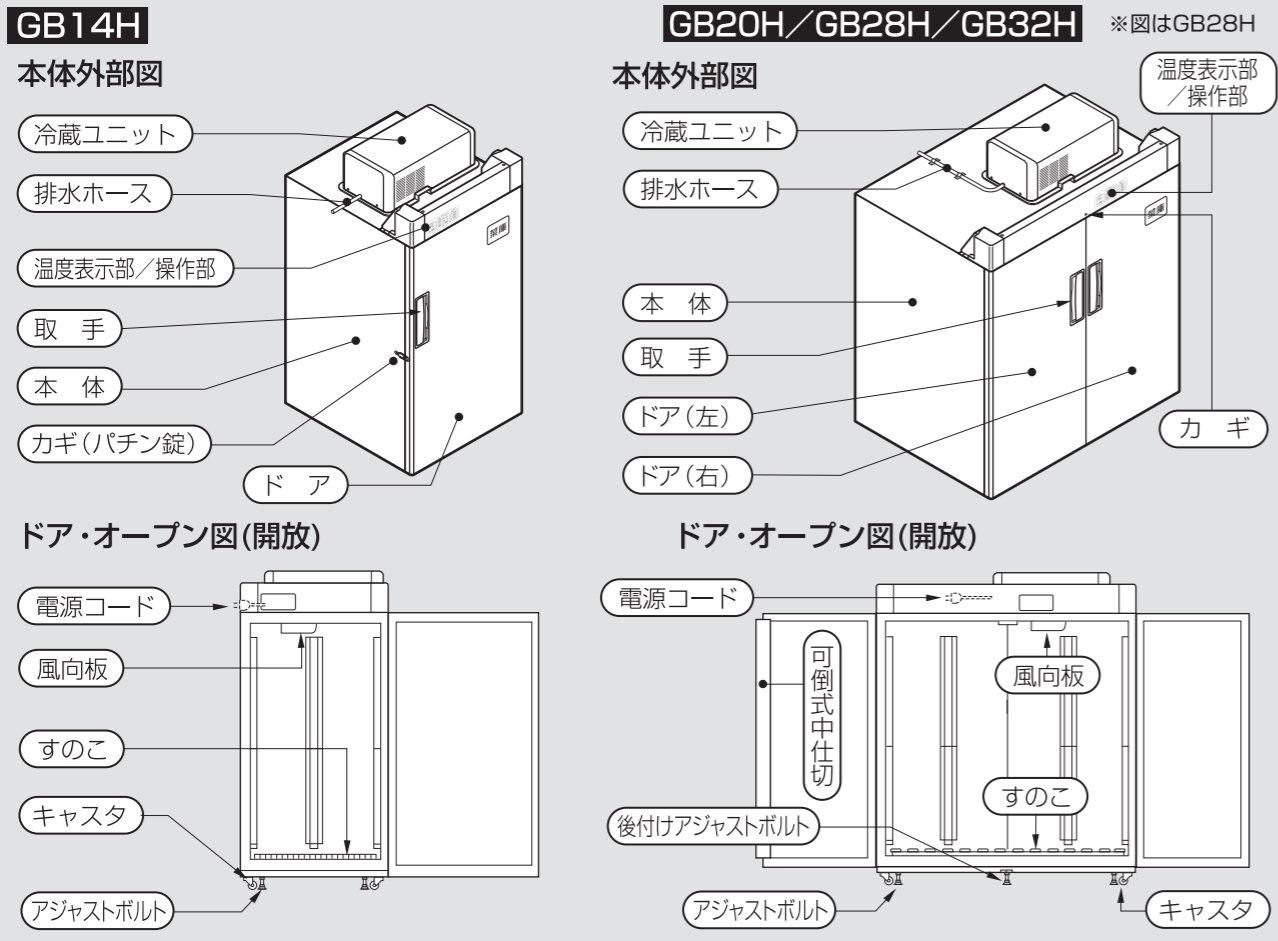




### 3.1.2.機械の据付寸法図

機械の主な据付寸法は次の通りです。

単位：mm

# 3.2.機械の構成

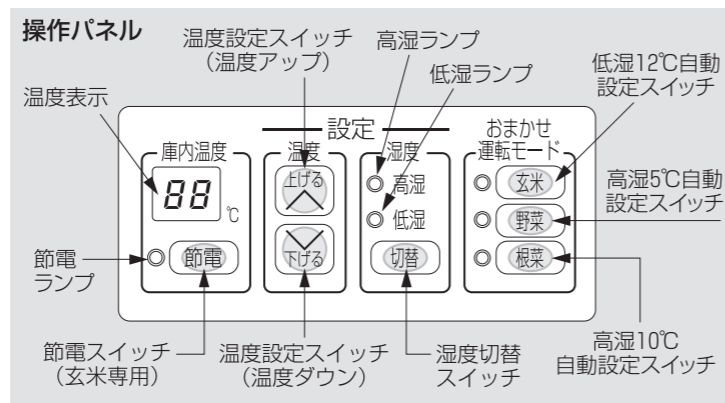
機械の構成を次に示します。

# 3.3.機械の使用範囲

●この機械は**玄米、野菜などの保冷庫**として使用できます。
保冷とは、玄米、野菜などの温度が上がらないように低温に維持することをいいます。

●この機械は**予冷用としては使用できません。**予冷とは、短時間で野菜や果物などの温度を下げることをいいます。
この機械の冷却能力では、希望の時間内で野菜などの温度が下がらないことがあります。簡易的に使用する場合は、あらかじめ試験を行なうなどして能力を確認した上で、ご利用ください。

●野菜や果物を貯蔵するときは、その野菜や果物の貯蔵温度・貯蔵湿度・貯蔵期間をよく確認してから貯蔵してください。

●この機械には**加温機能がありません。**
設定温度以下に外気温度が下がると庫内の温度も外気温度に応じて下がります。ただし、本体の断熱性により、庫内表示温度と外気温度には、時間的なズレがあり、必ずしも同じ温度を表示するわけではありません。

●設置場所を変える場合は、内部の貯蔵物を出してから移動してください。

## 6.2.4.貯蔵庫の設置

## GB14Hの場合

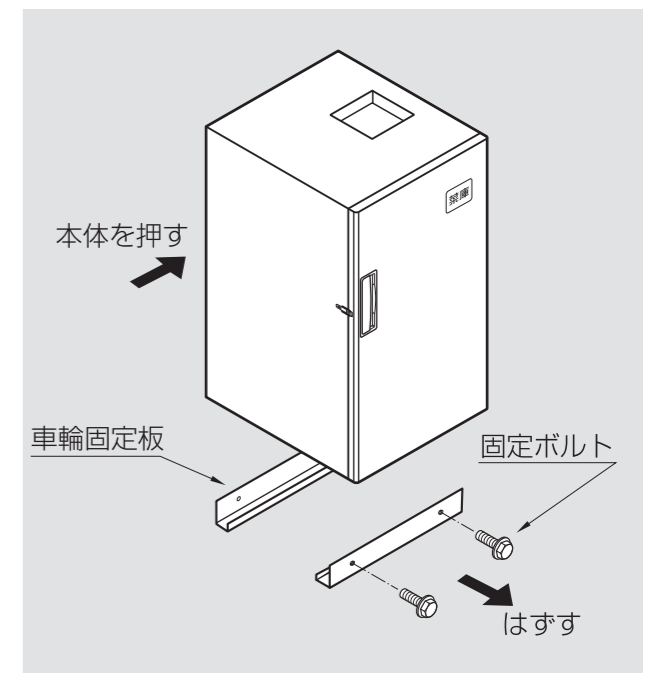
❶ **本体下の車輪固定板をはずします。**

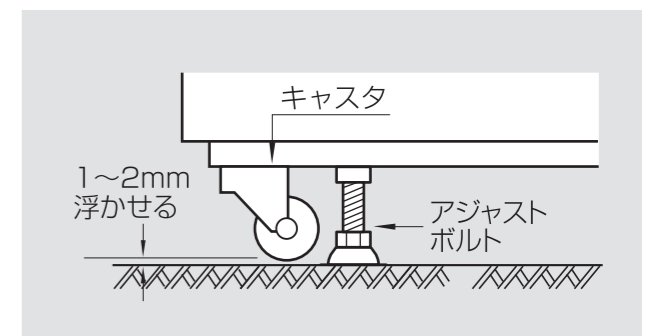
1.スパナ10mm又はボックスレンチ10mmで前後の固定ボルト4ヵ所をはずします。
2.本体を手で、右方向に押します。
3.車輪固定板がはずれます。
4.ダンボールと保護シートと内部の発泡スチロールをはずします。

❷ **設置場所に固定します。前方調整**

**土間や板の間などの床面が柔らかい場所には設置しないでください。**

●前側のアジャストボルトを下げて、本体が動かないようにします。

**重 要**

**1.スパナ24mmでアジャストボルトを調整します。**
**2.水平はドアに歪みがないようにドアを開閉しながら調整してください。**

※本体質量（空のとき）／GB14H：99kg

**●ドア左側が本体より高いとき**

向って本体左前を上げるか、本体右前を下げる。

**●ドア左側が本体より低いとき**

向って本体左前を下げるか、本体右前を上げる。

### 6.2.2.組立・設置に必要な工具類

必要な工具類を準備してください。

| 機種 | | GB14H | GB20H | GB28H | GB32H |
|---|---|---|---|---|---|
| ボックスレンチ | 10mm | ○ | | | |
| スパナ | 10mm | ○ | | | |
| | 24mm | ○ | | | |
| ⊕ドライバ | 大 | ○ | | | |
| | 中 | ○ | | | |
| ⊖ドライバ | 中 | ― | ○ | | |
| 脚立 | | ○ | | | |
| ヘルメット・安全靴・手袋 | | ○ | | | |

### 6.2.3.梱包部品の確認

部品が揃っていることを確認してください。

❶ 梱包を解きます。❷ 本体の中に、冷蔵ユニットと部品が入っています。**確認をしてください。**

| 機種 | | GB14H | GB20H | GB28H | GB32H |
|---|---|---|---|---|---|
| 冷蔵ユニット | | 1式 | | | |
| すのこ | | 1枚 | | | |
| 部品 | アース線(ユニット付) | 1 | | | |
| | 排水ホース | 1本(180mm) | 1本(1000mm) | | |
| | ホースサドル | ― | 3 | | |
| | M4タッピンネジ(バインド) | ― | 6 | | |
| | ADJ断熱シート | 2 | | | |
| | M6平座金付六角ボルト | 7 | 6 | | |
| | ADJプラグ | 2 | | | |
| | 後付けアジャストボルト | ― | 1 | | |
| | キー | ― | 2 | | |
| | ワンサイドネジ | ― | 2 | | |
| | コードカバー | 1 | | | |
| | 上部パネル組立 | 1 | | | |
| | 上部パネル(右) | 1 | | | |
| | 上部パネル(左) | 1 | | | |
| | スクリベット | 2 | | | |
| | カヌークリップ | 2 | | | |
| 取扱説明書 | | 1 | | | |
| お客様用説明書 | | 1 | | | |



# 4 機械の使用

この章では、機械の使用上の注意事項と使用方法について説明しています。

## 4.1.使用上の注意事項

この機械は**屋内用に設計・製造**されていますので、次の注意事項をお守りください。

| 注意事項 | 注意事項が守れなかった場合の不具合 |
|---|---|
| **1.設置** | |
| 1.雨や直射日光が当たらない所。 | 1.ショート・感電したりサビが発生することがあります。また、寿命が短くなったり、庫内の温度が上昇することがあります。 |
| 2.風通しが良くて、湿気の少ない所。 | 2.機械の周囲が湿り、本体外壁に水滴がつくことがあります。 |
| 3.床面がしっかりした、平らな所。 | 3.振動音の発生や、ドアの密閉が悪くなり、冷気が漏れることがあります。<br>貯蔵物の重量で床が変形し、ドアにすきまが出ることがあります。<br>本体の水平がくずれて、庫内に水滴が落ちてくることがあります。 |
| 4.本体の回りに保守スペースが取れる所。 | 4.冷蔵ユニットは点検と掃除が必要です。これを怠ると冷蔵ユニットの寿命が短くなります。 |
| 5.貯蔵庫の近くには、肥料など金属を腐食させるものを置かないでください。 | 5.冷蔵ユニット内部が腐食したり、鋼板が錆びることがあります。 |
| 6.ドアには上から力を加えないでください。 | 6.鍵がかからなくなります。本体とマグネットパッキンの間にすき間ができ庫内が結露したり、冷気が漏れることがあります。 |
| **2.貯蔵** | |
| 1.米を貯蔵する場合は、水分を16%以下にまで乾燥して、紙袋で貯蔵してください。(長期貯蔵は15%以下が良い。) | 1.玄米水分が高すぎるとたとえ低温でもカビが発生したり、玄米が固まったりすることがあります。また、袋に入れずに裸で貯蔵すると乾燥します。 |
| 2.籾摺り、精米などを行う場合は、取り出して、外気温度と同じにしてから行ってください。 | 2.籾、又は、玄米の表面に水滴がつき、玄米が割れたり、精米後、白米の表面がひび割れすることがあります。 |
| 3.熱いものは外気温度と同じにしてから入れてください。 | 3.熱いものを冷やすのに時間がかかりますし、電気代もかかります。 |
| 4.庫内の壁に密着して物を入れないでください。 | 4.冷気が循環できなくて、冷えない場所ができてしまいます。また壁に密着しているところは湿ります。 |
| 5.ドアの開閉回数を少なくしてください。 | 5.1日に何回もドアを開閉すると、庫内の湿度が上がります。庫内湿度が上がると、玄米水分が上がったりカビが発生したりすることがあります。ドアの開閉は20秒以内で、1日5回以下にしてください。短い時間(間隔)でドアの開閉をすると壊れる可能性があります。 |
| 6.貯蔵庫には、肥料など金属を腐食させるものを入れないでください。 | 6.冷蔵ユニット内部が腐食したり、鋼板が錆びることがあります。 |
| 7.ドア側にものが倒れてこないように積んでください。ドアは最後までしっかり閉めてください。 | 7.ドアが少し開いた状態になり、庫内に水滴が落ちてきたり、天パネルに水滴がたまることがあります。 |
| **3.掃除** | |
| 1.冷蔵ユニットの吸込口は定期的に掃除をしてきれいにしてください。  | 1.ホコリが付着して熱交換が不十分だと、電気代が増えます。また冷蔵ユニットの寿命が短くなります。 |

## 4.2.使用方法

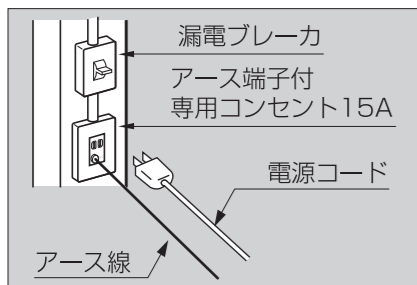
**⚠ 警 告**

漏電ブレーカを取付けてください。

**⚠ 注 意**

この機械は交流100V専用です。

**⚠ 警 告** 交流200Vは絶対に使用しないでください。

### 4.2.1.電源の接続について

電源コンセントにプラグを差し込むと、庫内温度表示部が点灯して、冷蔵運転を開始します。（冷蔵運転の開始は、庫内温度が設定温度より高い場合）

電源プラグを抜いて運転を停止したときは、**5分間以上停止**したままにしてください。

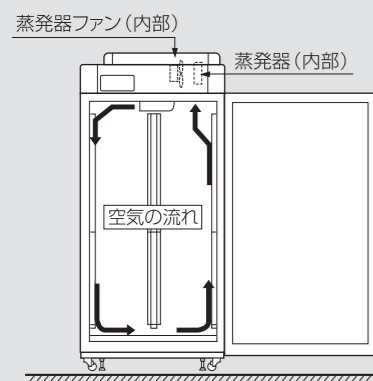
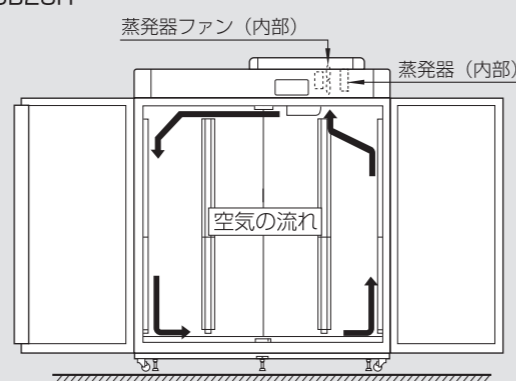
運転･停止をひんぱんに行うと、冷蔵ユニットの故障につながります。

冷蔵ユニットを**5分間以上**傾けて移動した場合、平らな所に置いて**10分間以上**経過してから電源コンセントにプラグを差し込んでください。冷蔵ユニットを傾けてから**10分間以内**に電源コンセントを差し込むと、冷蔵ユニットの故障につながります。

**⚠ 警 告**

1.15A以上のアース端子付専用コンセントを設けて単独で使用してください。
2.安全のため漏電ブレーカ(定格電流15A／定格感度電流30mA)を取付けてください。
3.コードリールは使用しないでください。
4.たこ足配線は、絶対しないでください。
5.電源コードは踏みつけないでください。

### 4.2.2.庫内冷却について

庫内には冷却空気を循環させるために蒸発器ファンが付いています。この蒸発器ファンは庫内の貯蔵物を均一に冷却させるためのもので、急冷用ではありません。庫内壁面には冷気が流れるためのすき間を開けてください。

# 6 組立要領

この章では、機械の組立について説明しています。

## 6.1.組立の前に

**重 要**

●作業に適した服装と靴で作業してください。
●体調が良くない、フラフラするなど健康に異常がある時は作業しないでください。
　思わぬ作業ミスやケガの恐れがあります。
●連携作業は、足元を確認した上で声を掛け合って行ってください。
●本体上部での作業(冷蔵ユニットの取付等)はしっかりした足場を用意し、
　足元を十分に確認してから行ってください。
●必要な工具を準備してください。●必要な部品が揃っていることを確認してください。

## 6.2.組立の手順

### 6.2.1.設置スペース

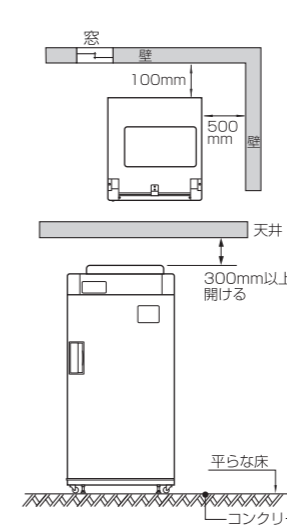
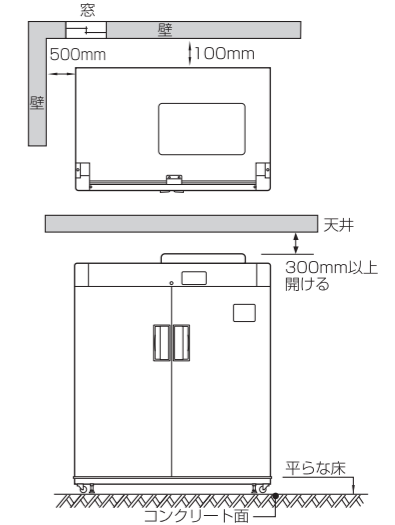
設置スペースを確保してください。

**重 要**

1.本体の周囲には、左右500mm、後面100mm、上面300mm以上のスペースを取ってください。
2.設置場所は平らな所で、しっかりしている床面（コンクリート床）に設置してください。
　床面がしっかりしていないと、貯蔵物の重量により本体の水平がくずれます。
　本体の水平がくずれると、庫内に水滴が落ちてくることがあります。
3.直射日光が本体に当たらないようにしてください。
　（電気の消費が増すと同時に冷蔵ユニットのコンプレッサーに無理がかかります。）
4.換気ができる所に設置してください。
　（電気の消費が増すと同時に冷蔵ユニットのコンプレッサーに無理がかかります。）

GB14H

GB20H
GB28H
GB32H
※図はGB28H

窓 壁 500mm 100mm 壁 天井 300mm以上開ける 平らな床 コンクリート面

## 5.3.貯蔵庫の廃棄について

●長年お使いいただいた後、廃棄される場合は、必ずドアと冷蔵ユニットをはずし、本体と別にしてください。
●廃棄は廃棄物処理法に基づいた適正な処理をしてください。
（不法投棄は絶対にしないでください。廃棄物処理法により罰せられます。）
●地域により廃棄方法や区分が異なることがあります。
詳しくは、各市町村の廃棄担当部署にご確認の上、処理をしてください。
●廃棄には費用が掛かりますので、お客様にてご負担をお願い致します。

**⚠ 警告**

**1.ドアをはずしていないと、子供が閉じ込められて事故の原因になります。**
**2.子供が遊ぶ場所に放置しないでください。**

冷蔵ユニットには、冷媒としてフロンを充てんしています。

**重 要**

**●地球環境保護のため、次の事が法律で決められていますので必ず守ってください。**
**1.この製品に封入されている冷媒をみだりに大気中に放出しないでください。**
**2.この製品の整備・廃棄時は、封入されている冷媒を回収してください。**

冷媒の回収は第1種フロン類回収業者に依頼されるか、ご購入先に相談してください。
※フロンの回収には費用が掛かりますので、ご負担をお願い致します。

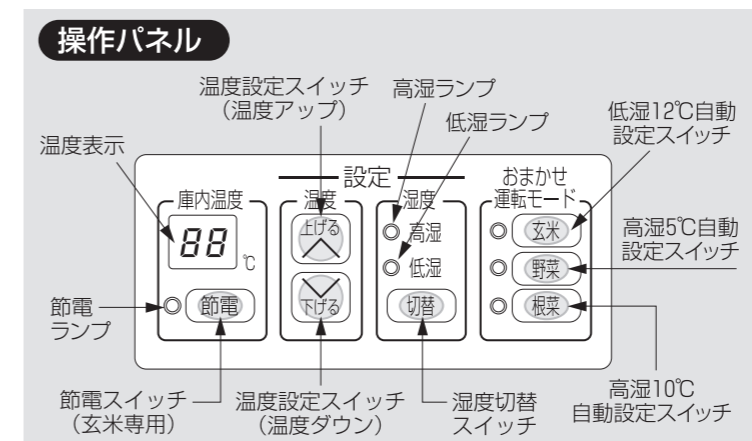
●この製品に使用しているフロンは次の通りです。

| 機　種 | GB14H／GB20H／GB28H／GB32H |
|---|---|
| 冷媒の種類と量 | HFC-134a, 130g |

この製品には最大で$CO_2$（温暖化ガス）200kgに相等するフロン類が封入されています。





### 4.2.3.庫内温度・庫内湿度の設定と表示について

庫内温度の設定および庫内湿度の設定は、操作盤にある操作パネルで行います。

**おまかせ運転モード**

玄米 を押す…
庫内温度は**12℃**に設定されます。
庫内湿度は**低湿**に設定されます。
玄米ランプと低湿ランプが点灯します。

野菜 を押す…庫内温度は**5℃**に設定されます。庫内湿度は**高湿**に設定されます。
野菜ランプと高湿ランプが点灯します。

根菜 を押す…庫内温度は**10℃**に設定されます。庫内湿度は**高湿**に設定されます。
根菜ランプと高湿ランプが点灯します。

**節電モード**

節電 を押す…庫内温度は**14℃**に設定されます。庫内湿度は**低湿**に設定されます。
節電ランプ、玄米ランプ、低湿ランプが点灯します。

**手動モード**

上げる 下げる を押す…庫内設定温度を上げたいときは 上げる を押し、
庫内設定温度を下げたいときは 下げる を押します。
上げる または 下げる を押すと温度表示部の数字が点滅します。
点滅している数字が設定温度です。
上げる または 下げる を押すと **おまかせ運転モード**、**節電モード** 設定は自動的に解除されます。

切替 を押す…庫内湿度が切り換えられます。
切替 を押すたびに高湿と低湿が切り換わり、どちらかのランプが点灯します。
この場合 **おまかせ運転モード**、**節電モード** 設定は自動的に解除されます。

**重 要**

●庫内温度は、設定温度に対し、**上下2℃の範囲で制御**します。
（但し、節電モードの場合は、＋2.5〜－1の範囲で制御します。）
●節電モードは玄米専用のモードです。野菜、根菜では使用できません。
●設定温度を15℃以上にする場合、15→H→16→…と表示します。
これは玄米保管に適した温度を超えることをお客様に示す為であり、故障ではありません。

### 4.2.4.庫内湿度と温度調節の範囲及び代表的な用途

操作パネルで、貯蔵する物によって庫内の湿度を切り換えて使用できるようになっています。
下表を参考にして切り換えてください。

| 湿度切換 | 庫内湿度(%) | 温度調節 | 代表的な用途 | 蒸発器ファンの働き（庫内ファン） |
|---|---|---|---|---|
| 低　湿 | 55〜75 | 2〜16℃ | 玄米、籾、小麦など | 圧縮機が止まると蒸発器ファンが止まる(＊)<br>圧縮機が動くと蒸発器ファンも動く<br>圧縮機が止まるが蒸発器ファンは動く（霜取り時） |
| 高　湿 | 70〜90 | 2〜16℃ | 生鮮野菜など | 連続して運転する |

＊圧縮器停止1分後に2分間蒸発器ファンが動きます。

**重 要**

**玄米などの乾燥物と生鮮野菜などを一緒に貯蔵しないでください。**
庫内湿度は参考値です。ドアの開閉頻度や、外気の温度、湿度により変化します。
野菜や果物はその貯蔵温度・貯蔵湿度・貯蔵期間をよく確認してから貯蔵してください。

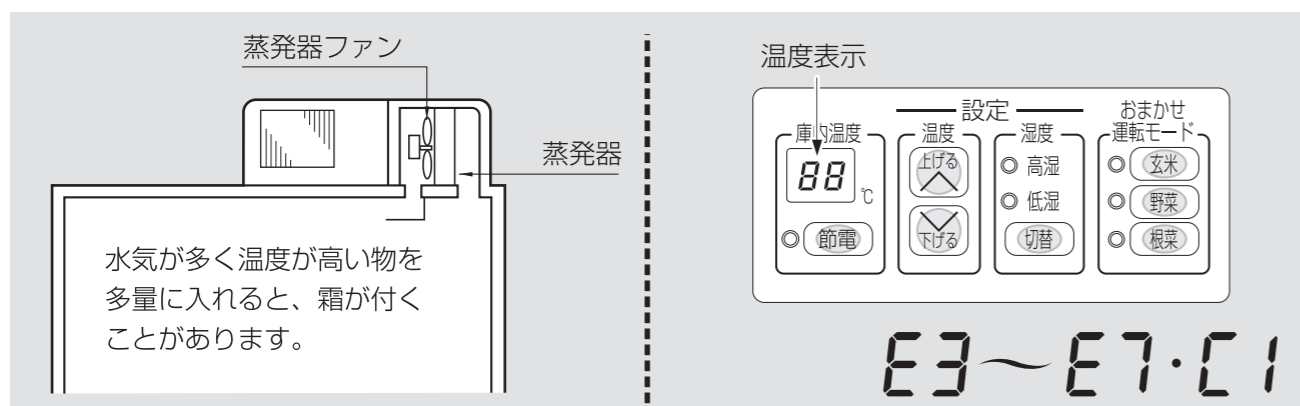
### 4.2.5.霜取りについて

熱交換器（蒸発器）の霜取りは、コンプレッサが停止したとき自動的に行われます。
また、**2時間ごとに20分程度コンプレッサを停止して霜取り**を行います。(**蒸発器ファンのみが回ります。**)通常の使い方では霜が付くことはありませんが、水気が多く、温度が高い物を多量に入れたときなどに霜が付くことがあります。この場合は、一旦電源プラグを抜き、霜がとけてから電源プラグを入れ直してください。

### 4.2.6.チェックコード表示とエラーコード表示

運転中に異常があると温度表示部にチェックコードC1または、温度表示を点滅表示します。（運転を停止します。）31ページの「困ったときには」を参考に点検してください。
故障があると、温度表示部にエラーコードE3〜E7を点滅表示します。(運転を停止します。)この場合は部品故障が原因ですので購入先に修理を依頼してください。

**●エラーコード・チェックコード一覧**

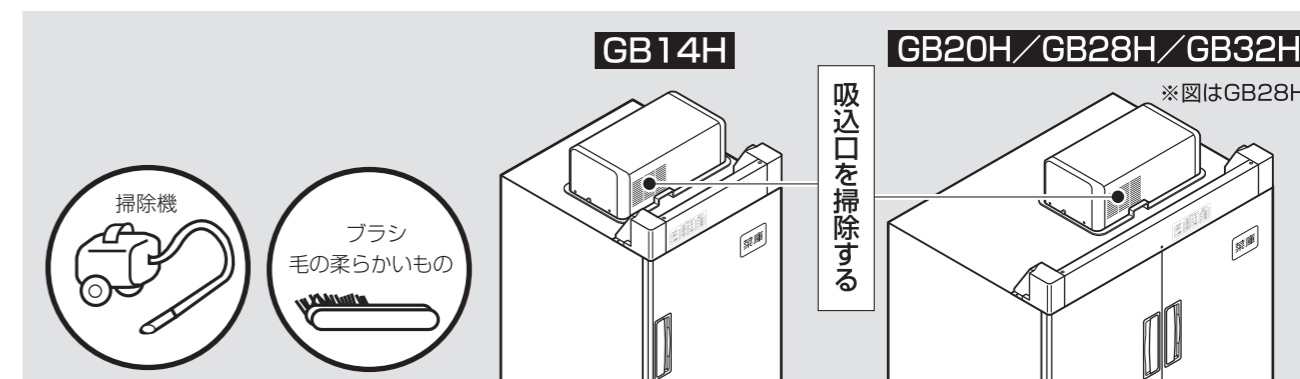
| 表 示 | 異 常 内 容 | 対 応 |
|---|---|---|
| E 3 | 庫内温度サーミスタの短絡 | 部品交換 |
| E 4 | 庫内温度サーミスタの開放 | 部品交換 |
| E 6 | オーバーヒートサーミスタの短絡 | 部品交換 |
| E 7 | オーバーヒートサーミスタの開放 | 部品交換 |
| C 1 | オーバーヒートサーミスタ高温 | P31参照 |

## 5.2.掃除箇所と方法

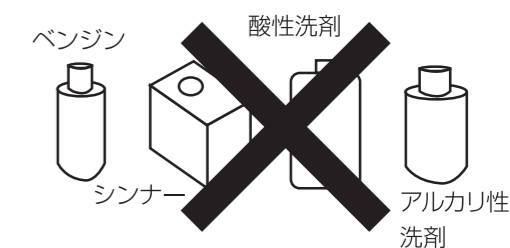
### 5.2.1.吸込口の掃除

❶電源プラグを抜いて運転を停止します。
❷掃除機と柔らかい毛のブラシを用意して、フィンに付着したホコリを取り除きます。

**⚠警 告**

**1.内部のフィンに素手でさわらないでください。**
**2.水はかけないでください。**

**注意** 1.内部のフィンを曲げないようやさしく扱ってください。
2.刃物や先の鋭いものを使わないでください。フィンや凝縮器が破損することがあります。

### 5.2.2.ドアや庫内の掃除

❶電源プラグを抜いて、運転を停止します。
❷洗剤を使う場合は、薄めた中性洗剤を柔らかい布かスポンジに含ませて拭いてください。次に、洗剤が残らないよう、水拭きしてください。**水をかけて洗わないでください。**
❸カビが見られるときは、消毒用エチルアルコールをスプレーすると効果があります。アルコールの臭いがなくなるまでドアを開けておいてください。

**⚠警 告**

1.**消毒用エチルアルコール以外の溶剤**（例えばベンジンやシンナーなど）や**酸性やアルカリ性の洗剤**（風呂用洗剤など）**は絶対に使わないでください。**
2.**冷蔵ユニットには直接水をかけないでください。**漏電や故障の原因になります。

# 5 点検と掃除と廃棄

この章では、機械の点検箇所と方法、掃除箇所と方法および廃棄について説明しています。

## 5.1.点検箇所と方法

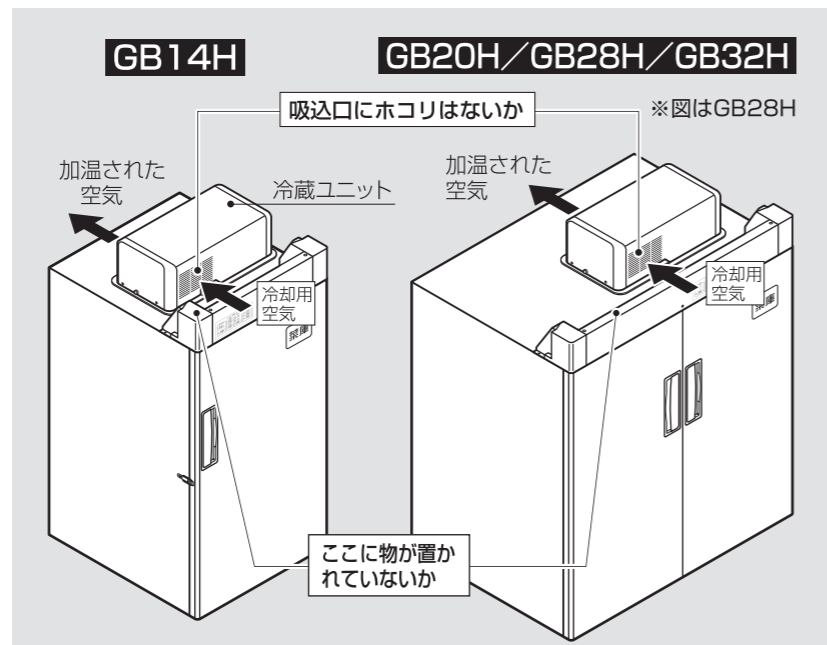
### 5.1.1.庫内温度の点検

●温度表示部で庫内温度の確認をしてください。

**⚠ 警 告**

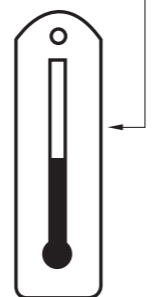
**本体や冷蔵ユニットの上に乗ったり物を置かないでください。ドアを開けた時に物が落下してケガをしたり、機械が変形します。**

### 5.1.2.吸込口の点検

●冷蔵ユニットの前面、後面には物を置かないでください。
●吸込口にホコリがついていないか確認してください。冷却用空気が吸込口を通過しています。ここがふさがれますと、冷却能力が下がり、庫内が冷えなくなります。また冷蔵ユニットの寿命を短くしますので注意してください。

### 5.1.3.設置場所室温の点検

●**室内の温度が35℃以下**であることを確認してください。

●室内の温度が35℃以上になると冷却能力がいちじるしく低下します。電気代のムダや、冷蔵ユニットの故障の原因となりますので**風通しをよくする工夫**をしてください。
●室内の温度が40℃以上になると、更に冷却能力が低下し冷蔵ユニットが**常に運転している**状態になる可能性があります。

部屋の温度は35℃以下

### 5.1.4.長期間使用しないとき

●電源プラグを抜き、ドアを開いて、庫内を乾燥させてください。

**⚠ 警 告**

**冷蔵ユニットの内部に指や棒、針金等を入れないでください。冷気の吹出し口、戻り口に手を入れないでください。感電やケガをすることがあります。**





### 4.2.7.排水について

冷蔵ユニットの**排水は、ユニット内で蒸発**するようになっています。排水パイプは、多量の排水があった時、本体の天板に水が落ちないように取付けています。（ドアを閉め忘れた時や、ドアを何回も開閉した時には、排水パイプから水が出ることがあります。）

**重 要**

排水が出ることがありますので次のことをお守りください。
●ドアは確実に閉めてください。
●ドアを頻繁に開閉しないでください。
●長時間ドアを開ける時は電源プラグをコンセントから抜いてください。

高湿設定時、水気の多い野菜や根菜の貯蔵をする時は多量の排水が考えられますので、排水パイプの先に排水ホース（別売部品）を取付けてください。

### 4.2.8.貯蔵品の入れ方について

**重 要**

❶ 貯蔵品を庫内に入れるとき、**壁面から25mm以上開けて**、冷気が庫内をまんべんなく循環するようにしてください。
❷ 庫内上部には**冷気の吹出し口、戻り口**があります。この部分が**ふさがれると冷却できませんので、50mm以上のすき間**を取ってください。
❸ 温度が高いものは、外気温度と同じになるまで待ってから入れてください。

### 4.2.9.玄米の貯蔵について

GB14Hは30Kgの紙袋で14袋、GB20Hは20袋、GB28Hは28袋、GB32Hは32袋の貯蔵ができます。

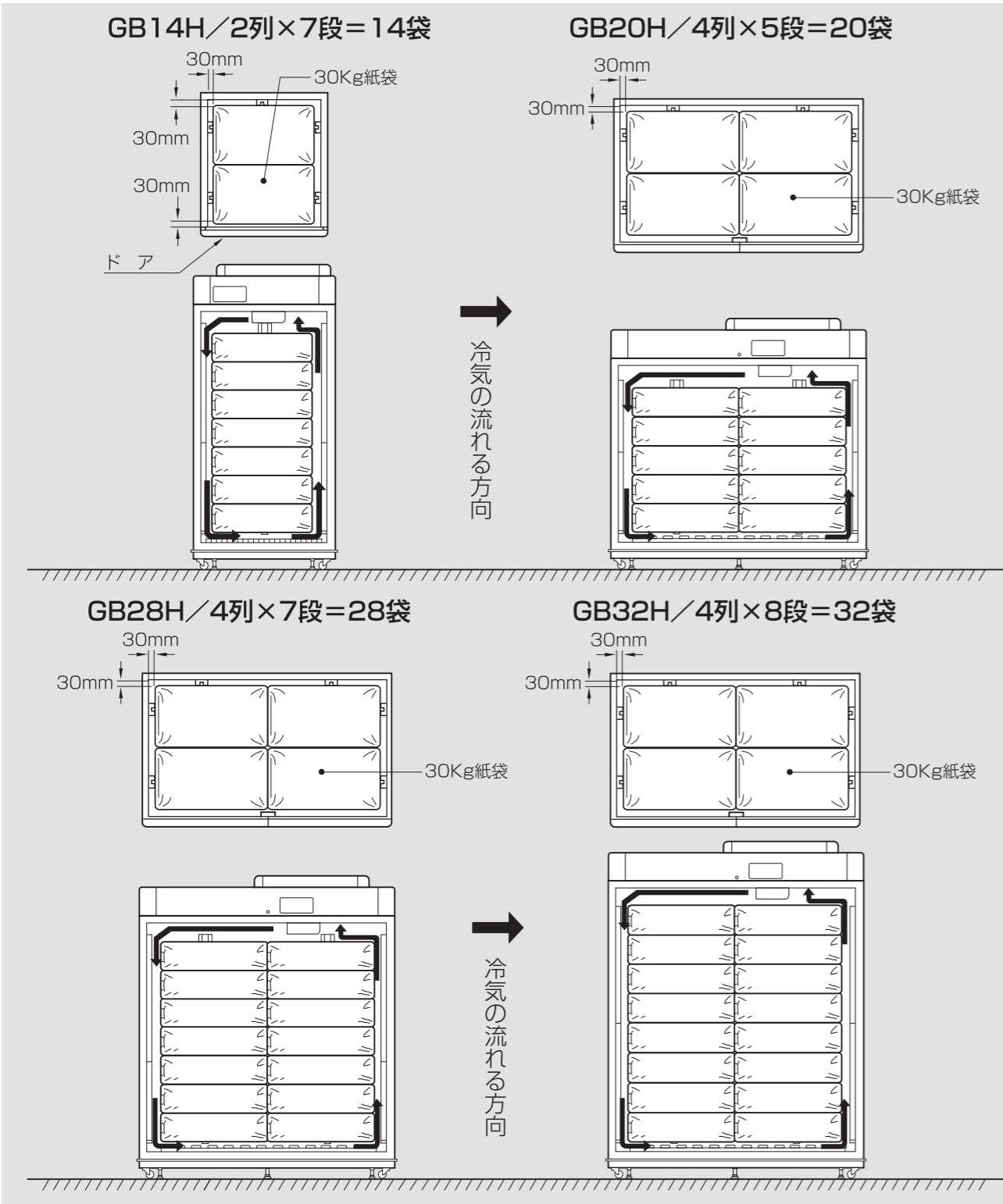
❶ 次ページの図のようにGB14Hは2列・7段、GB20Hは4列・5段、GB28Hは4列・7段、GB32Hは4列・8段に積んでください。
❷ **設定温度は15℃以下、庫内湿度は低湿**にしてください。
15℃以下になっていれば虫の発生はありませんし、古米化も防止できます。
❸ GB14Hは外気温30℃の温度で設定12℃の場合14袋を入れて運転すると、袋の中心部が12℃になるには約5日間かかります。
※GB20Hは20袋で、袋の中心部が12℃になるには約5日間かかります。
※GB28Hは28袋で、袋の中心部が12℃になるには約6日間かかります。
※GB32Hは32袋で、袋の中心部が12℃になるには約7日間かかります。
❹ 玄米を貯蔵するときは、水分の多い品物（野菜・果物など）や香りを発生する品物との同時貯蔵はしないでください。一緒に貯蔵できるものは、封印してあるビール類・飲料水・缶詰などです。
❺ **精米を行う場合は袋を庫外に出し、中の玄米が外気温度と同じになってから精米**してください。
夏場は温度差が大きいため12時間以上の時間が必要です。
玄米が冷えた状態で精米すると、うまく精米できないことがあります。
❻ 初夏から夏（6～9月）にかけて玄米を取り出す時は、早朝の温度が低いときに取り出すように心がけてください。

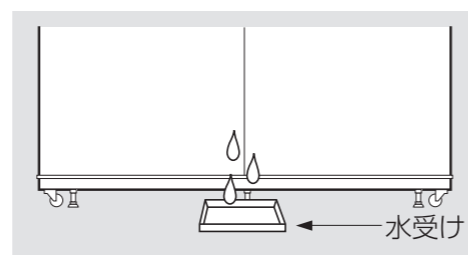
**重 要**

**●貯蔵中の米袋に冷気が直接当らないようにしてください。**
**●必ず、冷気の循環路を確保してください。**
**●冷えた玄米を外気にさらすと、表面に露が付き（結露）玄米の表面が白くひび割れを起すことがあります。紙袋の口は開けないでください。**
**精米直前に開封してください。**

**⚠ 注 意**

**米袋はドアを開けた時、崩れないように後の荷摺り柱にもたれさせるように積んでください。崩れると、カギを掛けた状態でもドアが少し開き、庫内に水滴が落ちてきたり、天パネルに水滴がたまることがあります。**

玄米30kg紙袋高さ180mm×幅675mm×385mmで換算。
庫内の壁に袋がふれないように30mm以上のすき間を開ける。

## 4.2.10.結露について

入梅から夏にかけてドアの合わせ部に露がつき、床に水が溜まる場合がありますが故障ではありません。水の量が多い場合は受皿(お客様でご用意願います。)で受けてください。(2ドアの貯蔵庫の場合)また、著しく高温･高湿の時には、本体全体に結露が生ずることがありますが故障ではありません。やわらかい布で拭き取り、本体周りの風通しをよくしてください。(場合によっては、本体を温度･湿度の低い場所に移動してください。)

## 4.2.11.ドアの密閉について

ドアは確実に閉めてください。
マグネットパッキンが本体に密着しているか確認してください。
ドアを閉めた直後、すぐにドアを開けようとするとドアが重くなります。
これは、庫内に入った空気が急に冷やされて、庫内の圧力が一時的に庫外より低くなるためです。

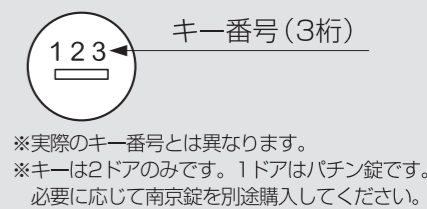
**重 要**　ドアがしっかり閉まっていないと庫内に露が付き、お米がカビることがあります。また、天パネルに水滴がたまることがあります。

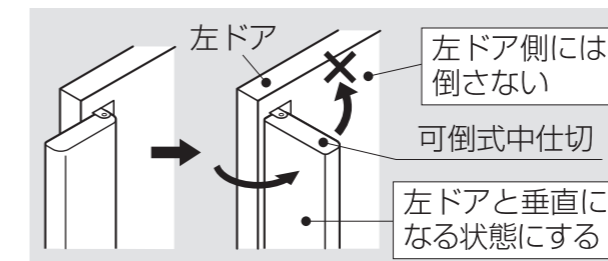
**注 意**　設置状況や、使用状況によりドアパッキンが硬化などして交換が必要になる場合があります。

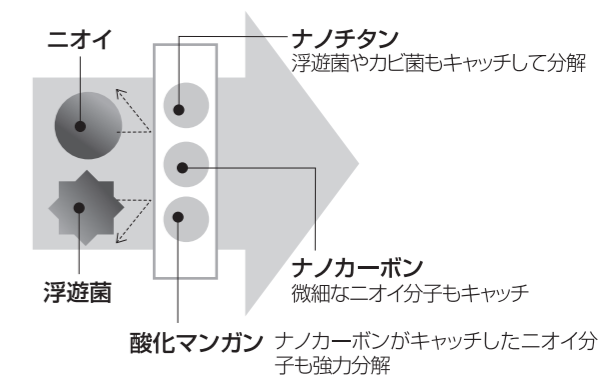
**⚠ 注 意**
1.ドアは取手を持って閉めてください。
　ドアに指などをはさんでケガをすることがあります。
2.ドアの回転側に手や指などを入れていないことを確認してから、ドアを閉めてください。
3.ドアは勢いよく閉めないでください。
4.2枚ドアの場合、ドアを閉じる時中仕切りが正しい位置にあることを確認してください。誤った位置で無理に閉めようとすると、中仕切りが破損することがあります。
5.短い時間(間隔)で開閉すると、機械が故障する可能性があります。

## 4.2.12.カギについて

貯蔵品の出し入れが終わったら必ずカギをかけてください。
カギをかけるときは中に人がいないことを確認してください。
キーは2個ありますので別々に保管すると紛失したときに安心です。2個とも紛失して注文するときは、本体のキーの番号を連絡してください。

※実際のキー番号とは異なります。
※キーは2ドアのみです。1ドアはパチン錠です。
　必要に応じて南京錠を別途購入してください。

## 4.2.13.可倒式中仕切について

●2ドア貯蔵庫の場合
左ドアに可倒式中仕切がついていますが、左ドアと平行になる状態で左ドアを閉めますと右ドアに当ります。垂直になる状態にしてから閉めてください。
可倒式中仕切を垂直な状態から左ドア側には倒さないでください。また、無理な力を掛けないようにしてください。

## 4.2.14.ナノチタン/カーボンについて

抗菌、脱臭効果のあるフィルターが付属しています。交換は不要です。

(試験依頼先) ※抗菌:日本紡績検査協会 ※脱臭:サンコー分析センター